

伊万里保健福祉事務所 保健・福祉・衛生情報

令和5（2023）年度運営の概要

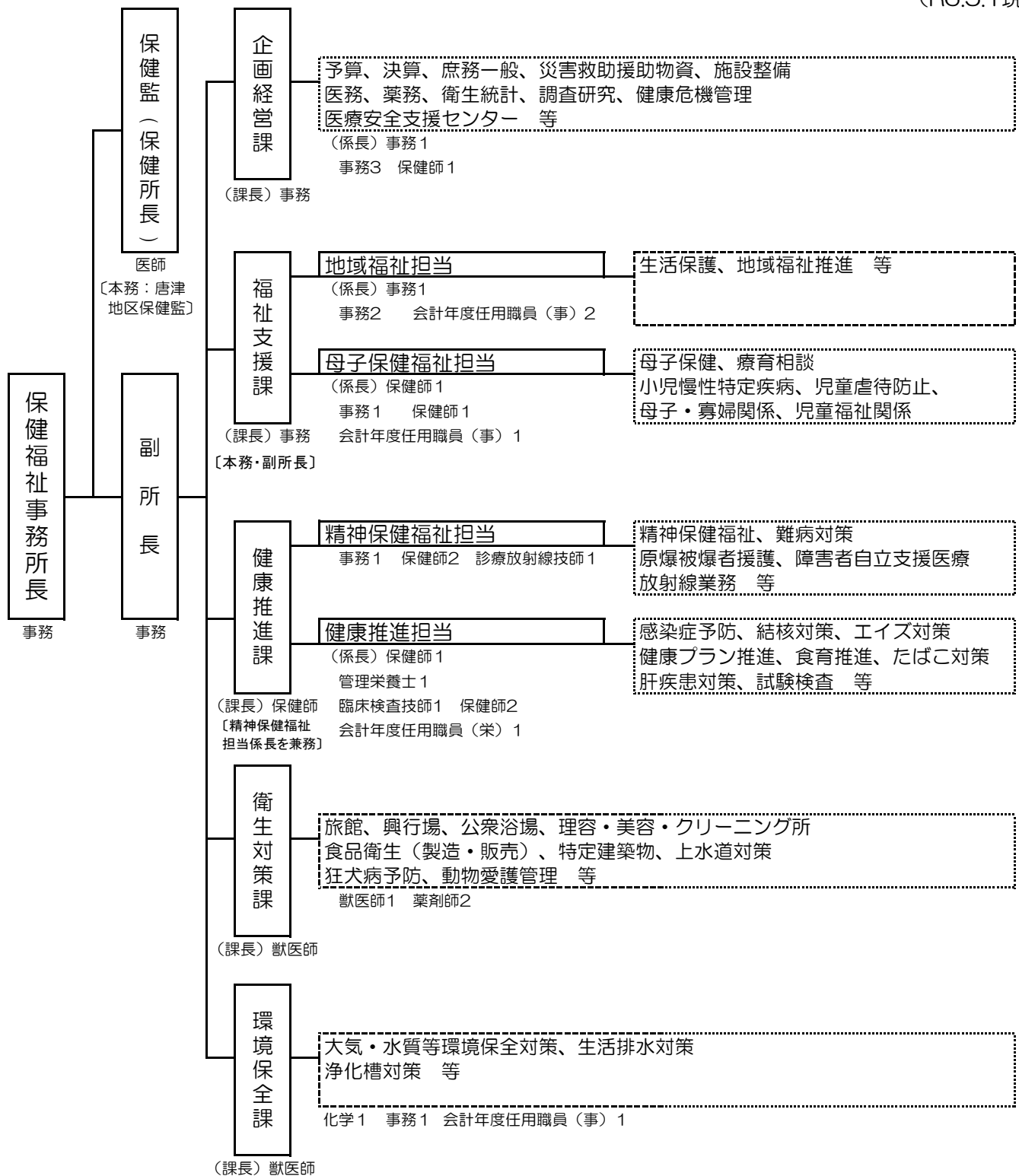


目 次

○ 組織・機構	1
1 人口・面積・世帯の状況	2
2 衛生統計	3
3 医務・薬務	7
4 健康危機管理対策	12
5 地域福祉	13
6 母子保健福祉	14
7 精神保健福祉	19
8 難病対策	21
9 原爆被爆者対策	22
10 栄養・健康づくり対策	23
11 歯科保健	28
12 肝疾患対策	29
13 感染症対策	30
14 環境衛生	37
15 食品衛生	38
16 狂犬病予防・動物愛護	41
17 環境保全	42
18 その他	45
○ 資料編	
・母子保健統計 (出生率、低体重児出生率、乳児死亡率、新生児死亡率、周産期死亡率)	47
・主要死因別標準化死亡比(SMR) (悪性新生物、結核、糖尿病、高血圧性疾患、心疾患、脳血管疾患、肺炎 肝疾患、交通事故、自殺)	50

伊万里保健福祉事務所の組織・機構

(R6.5.1現在)



職員(職種、人数) (会計年度職員・臨任等含む)

医師1、保健師9、管理栄養士2、薬剤師2、獣医師3、診療放射線技師1、臨床検査技師1、化学1、事務職員等17 合計 37人

1 管内の人口・面積・世帯の状況

●管内の状況

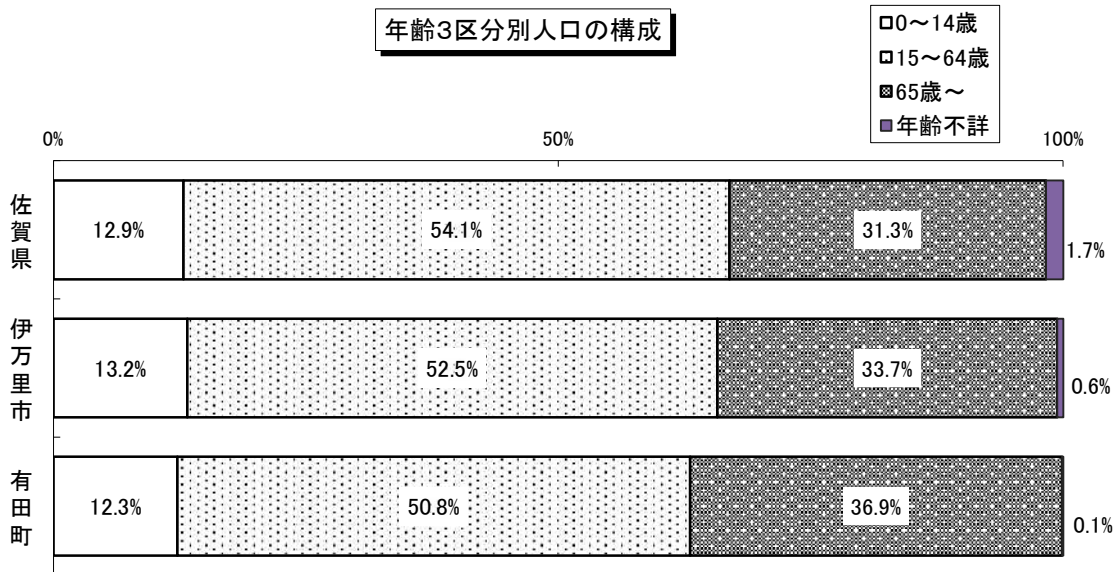
令和5年10月1日現在

市 町	面積 (km ²)	推 計 人 口							人口 密度 (人/km ²)	世帯数 (世帯)
		総数	性 別		3 区 分 別			高齢化 率(%)		
			男	女	0～14	15～64	65～			
県 計	2,440.67	794,385	377,156	417,229	102,215	429,780	248,829	31.3%	325.5	319,610
管内計	321.10	69,230	33,319	35,911	8,986	36,028	23,899	34.5%	215.6	27,297
伊万里市	255.25	50,896	24,789	26,107	6,735	26,721	17,142	33.7%	199.4	20,262
有田町	65.85	18,334	8,530	9,804	2,251	9,307	6,757	36.9%	278.4	7,035

資料 県統計分析課 推計人口(人口主要指標)

注) 1. 総数・男・女には年齢不詳を含む。

2. 面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和4年10月1日現在)」による。



2 衛生統計

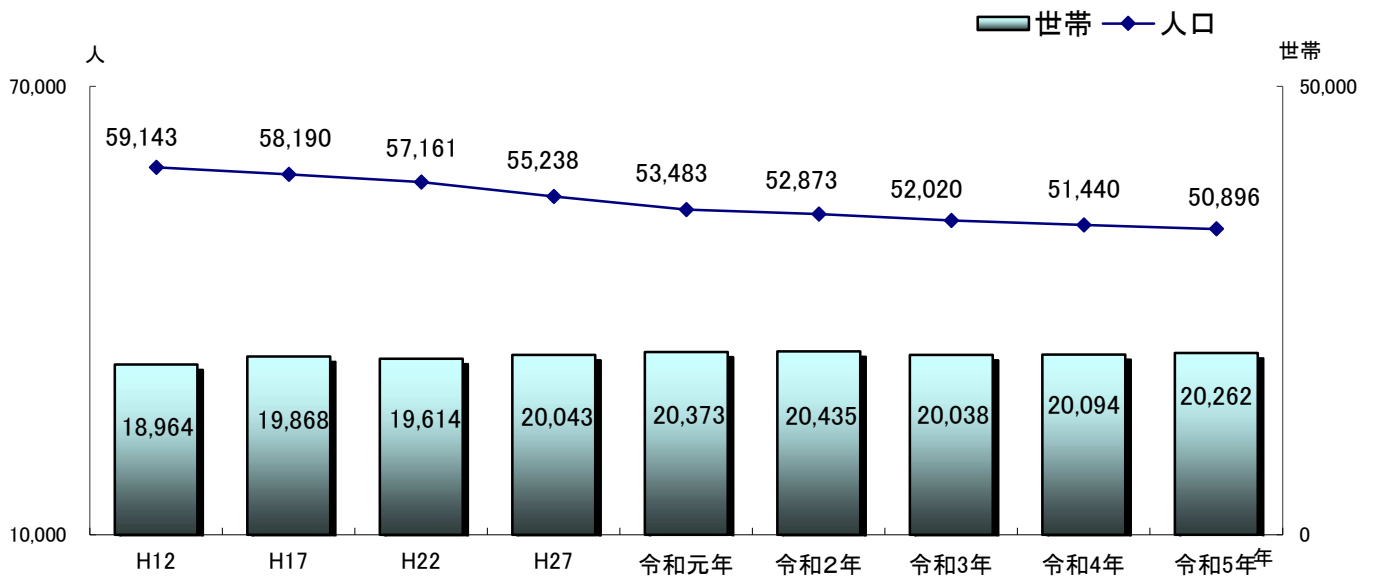
(1)伊万里保健福祉事務所管内市町人口の年次推移

年次	*平成12年	*平成17年	*平成22年	*平成27年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
西暦	2000年	2005年	2010年	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
県	876,654	866,369	849,788	832,832	814,211	808,821	805,721	800,511	794,385
管内	81,457	79,760	78,090	75,386	72,750	71,842	70,803	70,013	69,230
伊万里市	59,143	58,190	57,161	55,238	53,483	52,873	52,020	51,440	50,896
有田町	22,314	21,570	20,929	20,148	19,267	18,969	18,783	18,573	18,334

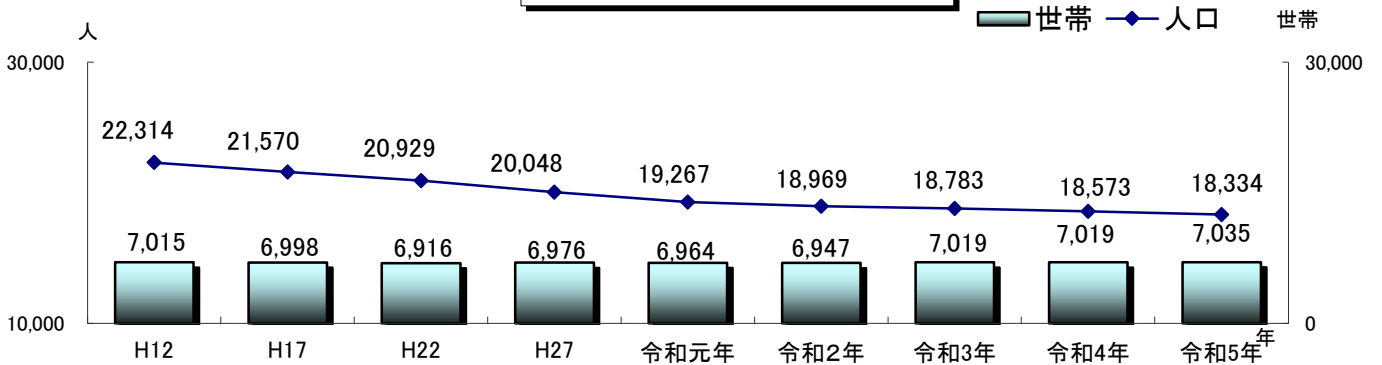
資料 県統計分析課推計人口(各年10月1日現在)

* は国勢調査結果による。

伊万里市 人口及び世帯数の年次推移



有田町 人口及び世帯数の年次推移



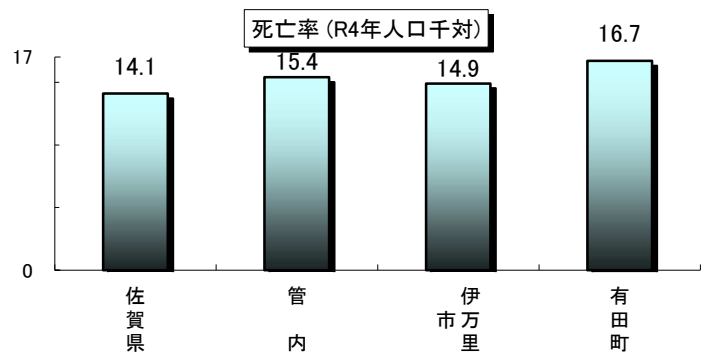
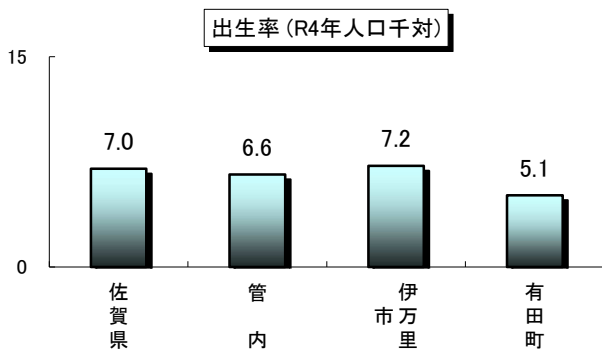
(2)伊万里保健福祉事務所管内市町別人口動態

令和4年(単位:人・%)

市町名	人口 (R4年 10月1日 現在の日本 人人口)	出生数		(再掲) 2500g未満 出生数		死亡数		(再掲) 乳児 死亡数		(再掲) 新生児 死亡数		死産数			(再掲) 周産期死亡数			婚姻件数		離婚件数			
		実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生百対)	総数	率 (人口千対)	総数	率 (出生千対)	総数	率 (出生千対)	総数	率 (出産千対)	自然 死産数	人工 死産数	総数	率 (出産千対)	☆ 枠外 参照	★ 枠外 参照	総数	率 (人口千対)	総数	率 (人口千対)
佐賀県	800,511	5,552	7.0	484	8.7	11,204	14.1	6	1.1	3	0.5	94	16.6	55	39	17	3.1	14	3	2,951	3.7	1,041	1.31
管内	70,013	458	6.6	47	10.3	1,065	15.4	1	2.2	1	2.2	7	15.1	4	3	1	2.2	0	1	219	3.2	116	1.68
伊万里市	51,440	364	7.2	36	9.9	758	14.9	0	0.0	0	0.0	4	10.9	3	1	0	0.0	0	0	175	3.4	87	1.71
有田町	18,573	94	5.1	11	11.7	307	16.7	1	10.6	1	10.6	3	30.9	1	2	1	10.6	0	1	44	2.4	29	1.58

※率;小数点第2が1以上の場合は、小数点第1+1

☆…妊娠22週以後の死産数 ★…早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡)



(3)伊万里保健福祉事務所管内人口動態の推移

(単位 :人・%)

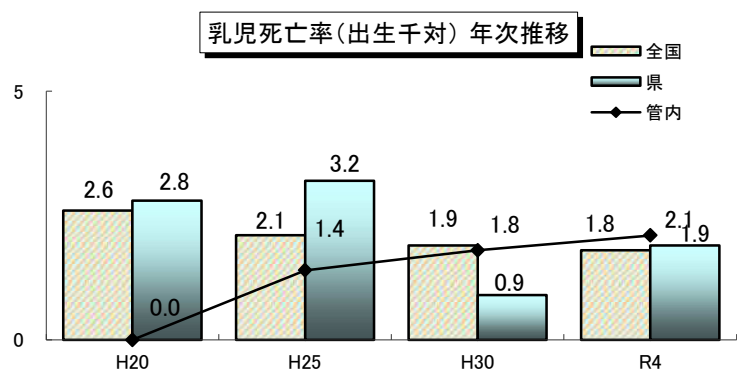
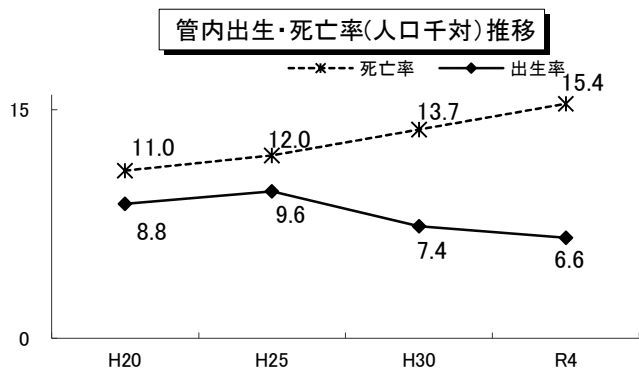
	管内人口 (日本人 人口)	出生数		(再掲) 2500g未満 出生数		死亡数		(再掲) 乳児 死亡数		(再掲) 新生児 死亡数		死産数			(再掲) 周産期死亡数			婚姻件数		離婚件数			
		実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生百対)	総数	率 (人口千対)	総数	率 (出生千対)	総数	率 (出生千対)	総数	率 (出産千対)	自然 死産数	人口 死産数	総数	率 (出産千対)	☆ 枠外 参照	★ 枠外 参照	総数	率 (人口千対)	総数	率 (人口千対)
平成20年	78,054	689	8.8	62	9.0	859	11.0	0	0.0	0	0.0	18	25.5	10	8	4	5.8	4	0	400	5.1	143	1.83
平成25年	76,193	735	9.6	68	9.3	915	12.0	1	1.4	0	0.0	10	13.4	3	7	1	1.4	1	0	358	4.7	135	1.77
平成30年	73,518	541	7.4	55	10.2	1,001	13.7	1	1.8	0	0.0	18	32.2	8	10	1	1.8	1	0	261	3.6	125	1.72
令和4年	70,013	458	6.6	47	10.3	1,065	15.4	1	2.2	1	2.2	7	15.1	4	3	1	2.2	0	1	219	3.2	116	1.68

(2)、(3)～資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

☆…妊娠22週以後の死産数

★…早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡)

*母子保健関係統計の詳細は、資料編参照



(4)①伊万里保健福祉事務所管内 主な死因の死亡数

令和4年 (単位:人)

	総数	悪性新生物										高血圧性疾患	心疾患(高血圧性除く)	脳血管疾患	肺炎	結核	糖尿病	老衰	不慮の事故	自殺
		総数	食道	胃	大腸	肝臓	膵	肺	乳房	子宮	白血病									
全国	1,569,050	385,797	10,918	40,711	53,088	23,620	39,468	76,663	16,021	7,157	9,759	11,665	232,964	107,481	74,013	1,664	15,927	179,529	43,420	21,252
佐賀県	11,204	2,764	57	299	352	201	252	559	109	59	77	114	1,567	704	695	9	96	1,149	278	130
管内	1,065	248	10	30	35	17	21	54	6	7	6	6	172	64	79	-	6	104	26	14
伊万里市	758	172	7	23	24	12	16	37	1	3	4	4	119	51	51	-	5	82	18	11
有田町	307	76	3	7	11	5	5	17	5	4	2	2	53	13	28	-	1	22	8	3

資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

注) 1 大腸とは結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

②伊万里保健福祉事務所管内 主な死因の死亡率(人口10万対)

令和4年

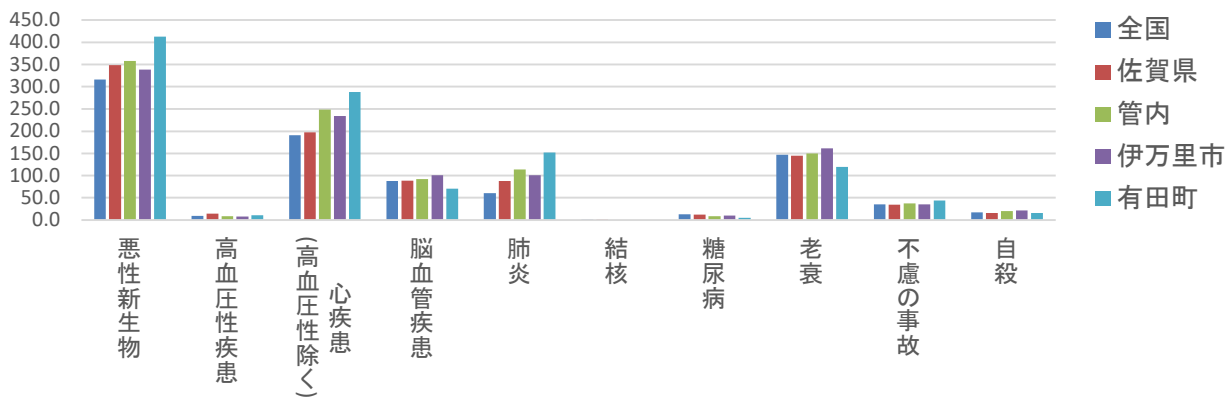
	総数	悪性新生物										高血圧性疾患	心疾患(高血圧性除く)	脳血管疾患	肺炎	結核	糖尿病	老衰	不慮の事故	自殺
		総数	食道	胃	大腸	肝臓	膵	肺	乳房	子宮	白血病									
全国	1,285.8	316.1	8.9	33.4	43.5	19.4	32.3	62.8	13.1	11.4	8.0	9.6	190.9	88.1	60.7	1.4	13.1	147.1	35.6	17.4
佐賀県	1,412.9	348.5	7.2	37.7	44.4	25.3	31.8	70.5	13.7	14.1	9.7	14.4	197.6	88.8	87.6	1.1	12.1	144.9	35.1	16.4
管内	1,537.9	358.1	14.4	43.3	50.5	24.5	30.3	78.0	8.7	19.4	8.7	8.7	248.4	92.4	114.1	-	8.7	150.2	37.5	20.2
伊万里市	1,490.7	338.3	13.8	45.2	47.2	23.6	31.5	72.8	2.0	11.4	7.9	7.9	234.0	100.3	100.3	-	9.8	161.3	35.4	21.6
有田町	1,668.4	413.0	16.3	38.0	59.8	27.2	27.2	92.4	27.2	40.5	10.9	10.9	288.0	70.6	152.2	-	5.4	119.6	43.5	16.3

資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

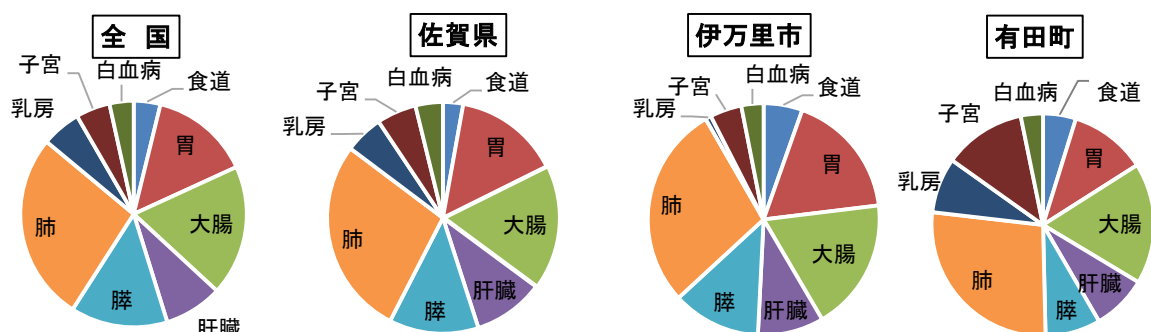
注) 1. 悪性新生物「子宮」死亡率は、女子10万対の率である。

*主な死因の標準化死亡比(SMR)については、「資料編」参照

主な死因の死亡率(人口10万対)



悪性新生物 部位別(人口10万対)



(5) 合計特殊出生率

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26
佐 賀 県	1.63	1.64	1.63	1.64	1.64	1.64	1.61	1.56	1.53
管 内	1.99	1.97	1.89	1.91	1.63	1.66	1.74	1.66	1.68
伊万里市	2.09	2.04	1.99	2.02	1.91	1.86	1.80	1.77	1.83
有 田 町	1.68	1.65	1.63	1.66	1.29	1.56	1.6	1.34	1.27

資料 全国値、県値～県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)
管内・伊万里市・有田町値～伊万里保健福祉事務所算出

* 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。〈A「期間」合計特殊出生率, B「コーホート」合計特殊出生率〉
* A「期間」合計特殊出生率～ある期間(1年間)の出生状況に着目したもので、その年における各年齢(15～49歳)の女性の出生率を合計したもの。女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。〈厚生労働省H.P「人口動態統計」より〉

(6) 母の年齢(5歳階級)別出生数

令和4年

	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
全 国	27	4,531	52,850	202,505	279,517	183,327	46,338	1,600	58
佐 賀 県	0	48	555	1,570	1,868	1,199	303	9	0
管 内	0	7	54	121	150	97	29	0	0
伊万里市	0	3	48	100	118	74	21	0	0
有 田 町	0	4	6	21	32	23	8	0	0

資料 全国値～e-stat政府統計の総合窓口(人口動態統計)
県、管内、伊万里市、有田町値～県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

3 医務・薬務

(1) 施設数・人口10万対施設数

令和4年10月1日現在

市町	病院				一般診療所				歯科診療所		人口10万人対施設数		
	総数	精神科病院	一般病院	療養病床等を有する病院(再掲)	総数	有床	療養病床を有する診療所(再掲)	無床	総数	有床(再掲)	病院	一般診療所	歯科診療所
全国	8,156	1,056	7,100	3,458	105,182	5,958	586	99,224	67,755	21	6.5	84.2	54.2
佐賀県	96	14	82	49	702	137	30	565	399	-	12.0	87.6	49.8
管内	9	2	7	6	60	12	4	48	31	-	12.9	85.7	44.3
伊万里市	8	2	6	6	41	11	4	30	25	-	15.6	79.7	48.6
有田町	1	-	1	-	19	1	-	18	6	-	5.4	102.3	32.3

資料「R4年医療施設(動態)調査」

(2) 市町別医療機関病床数

令和4年10月1日現在(単位:床)

市町名	病院病床							一般診療所病床			歯科診療所病床		病院・診療所病床	
	病床総数	人口10万人当たり病床数	精神科病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	病床総数	人口10万人当たり病床数	うち療養病床	病床総数	人口10万人当たり病床数	病床総数	人口10万人当たり病床数
全国	1,492,957	1,194.9	321,828	1,909	3,863	278,694	886,663	80,436	64.4	5,745	58	0.0	※1,573,451	1,259.3
佐賀県	14,154	1,767.0	4,117	24	30	3,633	6,350	2,001	249.8	256	0	0.0	※16,155	2,017
管内	1,132	1,616.8	330	4	0	398	400	155	221.4	37	0	0.0	1,287	1,838
伊万里市	926	1,800.2	330	0	0	398	198	143	278.0	37	0	0.0	1,069	2,078
有田町	206	1,109.1	0	4	0	0	202	12	64.6	0	0	0.0	218	1,174

資料「R4年医療施設(動態)調査」

※ 全国及び佐賀県の病院・診療所病床総数には、歯科診療所病床が含まれるため、病院病床総数・一般診療所病床数の合計に一致しない。

注) 平成13年3月の「医療法等の一部を改正する法律」の施行により、「その他の病床」(療養型病床群を含む)は「療養病床」及び「一般病床」に区分され、経過措置期間満了後の平成15年9月から病床の種別は「精神科病床」、「感染症病床」、「結核病床」、「療養病床」及び「一般病床」に改められた。

(3) 基準病床数と既存病床数の比較

(令和5年10月31日現在)

病床種別	区域	基準病床数	既存病床数		
			一般病床	療養病床	計
療養病床及び一般病床	西部保健医療圏	719			
			398	400	798
精神病床	県全域	3,388	(管内 330)		
感染症病床	県全域	24	(管内 4)		
結核病床	県全域	20	(管内 0)		

資料「第8次佐賀県保健医療計画(令和6年4月)」

※ 既存病床数は令和4年10月1日現在「令和4年度医療施設(動向)調査」

(4) 薬局及び医薬品販売業者数

(令和5年3月31日現在)

市 町 名	薬 局	医薬品販売業				計	高度管理医療機器販売業・貸与業
		店 舗 販売業	薬種商 販売業	特 例 販売業	卸 売 販売業		
佐 賀 県	511	203	2	2	92	810	512
管 内	37	15	0	0	3	55	34
伊 万 里 市	27	11	0	0	3	41	23
有 田 町	10	4	0	0	0	14	11

資料提供:薬務課

(5) 市町別献血者数

令和5年度(単位:人)

市 町 名	人 口	200ml 献血者数	400ml 献血者数	成 分 献血者数	合 計	献血率(%)
佐 賀 県	794,385	178	10,293	13,334	23,805	3.0%
管 内	69,230	6	1,177	225	1,408	0.4%
伊 万 里 市	50,896	6	928	199	1,133	2.2%
有 田 町	18,334	0	249	26	275	1.5%

資料提供:佐賀県赤十字血液センター

人口:県統計分析課推計人口(令和5年10月1日現在)

(6) 医療従事者数

(人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
佐賀県	2,430	619	2,013	552	245	11,766	4,001
管内	116	39	108	45	9	849	427
伊万里市	83	32	81	34	8	600	348
有田町	33	7	27	11	1	249	79

資料 ※「医師・歯科医師・薬剤師調査」: 令和4年12月31日現在 ※隔年調査
資料 保健師・助産師・看護師「衛生行政報告例」: 令和4年12月31日現在

(7) 医療機関立入検査関係

(令和4年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、病院は書面検査を実施。診療所のみ立入検査を実施。)

○調査施設数 (令和5年度)

病院	診療所	計
9	14	23

○主な指摘事項

*放射線管理関係 16件

○主な指導事項

*医療安全管理関係 18件

*院内感染対策関係 10件

*放射線管理関係 10件

(8) 医療従事者各種免許事務

令和5年度(単位:件)

区分	医師	歯科 医師	保健師	助産師	看護師	理学 療法士	視能 訓練士	作業 療法士	診療 放射線 技師	臨床 検査 技師	衛生 検査 技師	薬剤師	准看 護師	合計
新規	1	2	0	0	33	9	0	2	1	1	0	3	26	78
書換え	1	1	3	0	30	5	0	1	0	0	0	0	5	46
再交付	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4
抹消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	3	0	65	14	0	3	1	1	0	3	33	128

(9) 医療安全支援センター事業

医療機関に関する患者・家族等の苦情や相談に対応し、医療機関への情報提供、指導等を実施する体制の整備により医療の安全と信頼を高めるとともに、医療機関に患者・家族等の相談等の情報を提供することを通じて、医療機関における患者サービスの向上を図ることを目的として、中立的な立場から、患者・家族等と医療機関の信頼関係構築を支援すること等を基本指針として、平成15年9月8日に相談窓口（*1）を開設している。

（*1）県センター（県医療安全支援センター）1か所・・・県健康福祉本部医務課内
地区センター（地区医療安全支援センター）5か所・・・各保健福祉事務所内

①伊万里保健福祉事務所 相談実績（1月～12月）

年度	受付件数(延)
平成30年	7件
令和元年	9件
令和2年	16件
令和3年	5件
令和4年	3件
令和5年	7件

②佐賀県 相談内容及び件数（令和5年1月～12月）

区 分	件 数	当事務所分 (再掲)
医療行為・医療内容に関する事	191	(3)
職員の対応に関する事	105	(3)
施設等に関する事	17	
医療情報の取扱いに関する事	28	
医療機関の紹介に関する事	11	
診療報酬に関する事	15	
医療知識等に関する事	11	(1)
その他	35	
合 計	413	(7)

(10) 地域医療構想調整会議西部構想区域分科会

都道府県は、地域の医療需要の将来推計や報告された情報等を活用して、構想区域ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を適切に推進するための地域医療のビジョン(地域医療構想)を策定することとされた。そのため、医療計画において定める将来の病床数の必要量を達成するための方策その他の地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について協議することを目的として、佐賀県地域医療構想調整会議が設置された。それに伴い、構想区域(二次医療圏)ごとの分科会として、西部医療圏(伊万里市、有田町)では「西部構想区域分科会」を設置した。

※地域医療構想:病床の機能区分(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)ごとに医療需要と必要病床数を推計し、将来の医療提供対背の構築に向けた施策の方向性を示すもの。

開催日	内容	出席者数
令和5年8月1日	・8次医療計画の在宅医療及び外来医療計画の骨子案について ・病床機能、外来機能報告の結果について 等	分科会構成員14名、 オブザーバー9名
令和5年11月14日	(報告)在宅医療の整備目標、医療確保計画の協議状況 (協議)第8次医療計画の素案について、公立病院経営強化プランの協議、キャリア形成プログラム適用医師の派遣要望について 等	分科会構成員13名、 オブザーバー6名
令和6年2月14日	(協議)紹介受診重点医療機関の選定について (報告)外来機能報告の集計結果、具体的対応方針の実施状況調査結果、医療機器の共同利用状況 等	分科会構成員14名、 オブザーバー6名

(11) 西部地域医療協議会

1) 設置目的

医療制度改革を踏まえ、佐賀県保健医療計画の策定・推進、地域における保健・医療サービスの課題の抽出及び地域医療連携体制の構築に関する協議を行うため、二次医療圏単位に各地域医療協議会を設置。西部医療圏(伊万里市、有田町)では、「西部地域医療協議会」を設置。

2) 協議事項

- ①佐賀県保健医療計画の策定及び効率的な推進に関する事項
- ②疾病・分野ごとの医療連携体制の構築及び地域連携クリティカルパスに関する事項
- ③地域における保健・医療・福祉の連携強化に関する事項
- ④在宅医療の推進に関する事項
- ⑤その他、設置目的を達成するために必要な事項

(12) 薬物乱用防止関係

現在、薬物の乱用が深刻な社会問題になっている。特に今日では、インターネット上の取引により、薬物を簡単に入手できるようになっているとともに、合法ハーブ等と称して販売される薬物(いわゆる危険ドラッグ)、MDMAといった錠剤型の麻薬や大麻の乱用が、若い人たちを中心に拡大している。

1) 不正栽培けしの指導

4～6月の不正大麻・ケシ撲滅運動期間を中心に、管内を巡回し、生育場所をみつけて抜去及び栽培者への指導を行った。

ほとんどが自生あるいは鑑賞用として栽培しているため、リーフレット等の配布により不正栽培防止の啓発が重要である。

令和5年度

	違反件数	セティゲルム種	ソムニフェルム種	合計
伊万里市	2	115	0	115
有田町	0	0	0	0
合計	2	115	0	115

2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

① 地区打合せ会

年度	期日	内容
令和5年度	6月9日 (金)	伊万里総合庁舎別館大会議室にて、8の協力団体代表者などの参加により、令和元年度の普及運動実施計画、ヤング街頭キャンペーンの実施等について打合せを行った。 (協力団体) 薬剤師会、保護司会、ロータリークラブ、海洋少年団、高等学校、警察署

② 「ヤング街頭キャンペーン」の内容

年度	期日	場所	参加人数	内容
令和5年度	7月13日(木) 17:00～18:00	伊万里駅周辺 伊万里ショッピングセンター周辺	72人	通行人にリーフレット及びポケットティッシュを配布しながら、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」であることを呼びかけた。

4 健康危機管理対策

健康危機管理とは、医薬品・食中毒・感染症・飲料水など何らかの理由で国民の生命・健康の安全を脅かす事態が生じた場合に、健康被害の発生予防・拡大防止等に関する対策である。また、自然災害・事故等などで不特定多数の国民に健康被害が発生・拡大する可能性がある場合に公衆衛生を確保するための対策である。

管内では、健康危機管理に係る機関連携を強化し、協対し対応する体制確立を目的とし、平成20年10月に「伊万里有田地区健康危機管理対策委員会」を設置。本委員会の円滑な運営を図るため、委員会規約第7条に基づき、各機関の担当で構成する「伊万里有田地区健康危機管理対策幹事会」を設置している。なお、令和元年12月に中国で発生した新型コロナウイルスに関して、国内でもまん延が確認されており、令和2・3年度は対策会議や地域協議会を開催した。

○ 伊万里有田地区健康危機管理対策委員会

・伊万里有田地区健康危機管理対策委員会(幹事会) 構成員

構 成 員	委 員	幹 事
伊万里・有田地区医師会 伊万里・有田地区歯科医師会 伊万里有田地区薬剤師会 伊万里有田共立病院 伊万里警察署 伊万里・有田消防本部 伊万里海上保安署 福岡検疫所佐世保出張所 伊万里市、有田町、伊万里保健福祉事務所	左記機関代表者 各1名 ※保健福祉事務所のみ2名 計12名	左記機関の担当者より 各2名 計22名

○ 研修参加・開催など

2019年3月には新型インフルエンザ等対応マニュアルを策定。災害対応の人材育成を目的にDHEAT養成研修受講に2016年からほぼ毎年参加している(R2・3年度は開催なし)。さらに所内職員を対象に研修を実施した。

(1) 健康危機管理研修(衛生薬業センター)

参加日、参加者	場 所	内 容
2024/1/19 健康推進課1名、衛生対策課1名	佐賀中部保健福祉事務所	・PFAS問題 ・アレルギー検査 ・レジオネラ症 ・地域における健康危機管理体制の確保について等

(2) 原子力防災訓練

参加日・参加者	場 所	内 容	
令和5年10月14日	企画経営課2名、 健康推進課1名	白岩公園陸上競技場 (武雄市)	避難退域時検査訓練
	環境保全課2名	佐賀県環境センター	緊急時モニタリング訓練

(3) 大規模災害時の保健医療活動にかかる体制整備

開催日	場 所	備 考
2023/6/13 所内研修	伊万里保健福祉事務所内	災害初動対応訓練(アクションカード実動訓練)

5 地域福祉

(1)生活保護

生活保護は、現に生活に困っている国民に、その困っている程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることを目的としている。

①佐賀県の生活保護の推移

区 分	被保護世帯数			被保護人員			保 護 率(%)	
	実数	県指数	全国指数	実数	県指数	全国指数	本県	全国
令和元年度平均	6,523	100	100	7,844	100	101	9.64	16.6
令和2年度平均	6,492	100	100	7,720	98	100	9.55	16.3
令和3年度平均	6,395	99	-	7,526	97	-	9.35	-
令和4年度平均	6,293	97	-	7,375	96	-	9.22	-
令和5年度平均	6,242	98	-	7,298	97	-	9.19	-

※数字は生活保護速報による。(平成30年度=100)

②生活保護法による被保護世帯及び人員数

令和6年3月分

市 町 名	県内の世帯及び人口		被 保 護		停 止		保 護 率(%)		
	世 帯	人 口	世 帯	人 員	世帯	人員	当月	停止含	前年同月
佐 賀 県	320,278	789,232	6,172	7,219	44	55	9.15	9.22	9.34
有 田 町	7,035	18,126	92	113	1	2	6.23	6.34	7.15

(注)被保護世帯人員には停止を含まない。保護率の「前年同月」には停止を含む。

※数字は生活保護速報による。

(2)パーキング・パーミット制度

「歩行困難な方」に、地域福祉課および県内保健福祉事務所、市町で県内共通のパーキング・パーミット(身障者用駐車場利用証)を交付し、利用証を車に掲示しておくことで、県と協定を結んだ県内の施設やショッピングセンターなどの身障者用駐車場を利用できる制度(平成18年7月～)。

令和6年3月末現在、県内の協力施設は1,912施設である。

伊万里保健福祉事務所におけるパーキング・パーミット交付状況

有効期間	5 年				1年未満		管内計	県計
	身体障害者	高齢者	難病患者	知的障害者	妊産婦	けが人等		
令和元年度	22	3	6	0	3	5	39	6,520
令和2年度	31	8	3	1	3	6	52	6,290
令和3年度	62	1	16	1	7	4	91	5,205
令和4年度	37	3	13	2	1	9	65	5,830
令和5年度	20	4	10	1	1	8	44	9,618

(3)ヘルプマーク交付

外見からわかりづらいが援助や配慮を必要としている方へ「ヘルプマーク・ヘルプカード」を交付することにより、災害時や日常生活の中で困ったときに周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくする制度(平成30年7月～)。

伊万里保健福祉事務所におけるヘルプマーク交付件数

年度	管内	県・市町 計
令和4年度	12件	4,100件
令和5年度	9件	7,641件

6 母子保健福祉

(1) 訪問指導

特に指導を必要とする妊産婦、乳幼児、長期療養児童(小児慢性特定疾病児/等)等に対し、訪問指導を実施した。

令和5年度

	妊婦	産婦	乳児	幼児	その他	計
延人員	0	1	1	40	19	61

(2) 保健指導

障害児や長期療養児童(小児慢性特定疾病児)、女性の健康等に関する保健指導を実施した。また、育児や療養・健康上の不安軽減をはかるため、随時の電話相談に保健師が対応した。

令和5年度

	思春期	障害児	在宅長期療養児童(小慢)	女性の健康相談	その他	計
来所保健指導延人員	0	0	121	52	2	175
電話相談延人員	0	0	67	32	0	99

(3) すこやか発達相談指導事業

○療育発達相談

市町の相談、健診で要経過観察の児等、発達にフォローが必要な乳幼児の発達のフォローや保護者の不安の軽減のため、専門医師の診察とともに療育指導を行った。

令和5年度

開設回数	相談延人員	事後措置						従事者			
		ケースワーク	発達訓練	家庭訪問	次回相談	受診勧奨	その他	医師	保健師	理学療法士	その他(看護師・栄養士)
12	58	58	19	0	45	4	2	12	24	12	7

※事後措置は複数計上

(4) 公費負担医療給付状況

①小児慢性特定疾病医療費支援に係る医療費助成

小児慢性特定疾患医療は、児童福祉法第19条の3の3に基づき18歳未満(継続の場合20歳到達まで)の疾患児童に対して行う医療支援。

受給者証所持者数(疾患区分別)

令和6年3月31日時点

市町	疾患区分別															合計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患群	脈管系疾患	骨系統疾患	
令和3年度計	10	7	5	21	22	4	9	1	0	14	11	4	3	1	1	113
令和4年度計	11	5	4	23	19	5	9	0	2	13	11	4	2	1	1	110
令和5年度計	10	4	4	18	14	4	9	0	2	13	13	4	0	1	1	97

②不妊治療費助成

令和4年度から不妊治療に公的医療保険制度が適用されることとなったが、治療による負担は依然として大きいものと考えられる。そのため、希望する治療がより受けやすくなるよう、保険診療費の自己負担の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。(平成31年度から不育症治療の助成開始。令和5年度から保険診療による不妊治療と合わせて行った先進医療の助成開始。)

助成件数

年度	人工授精	生殖補助医療	先進医療	不育症治療
令和5年度	14	3	27	2

(5) 母子保健推進員研修会

管内の母子推進員を対象に、資質の向上を図るために開催する研修会

開催期日	内容	参加者
R5年6月19日(月)	講演「こどものアレルギーについて(アトピー性皮膚炎と食物アレルギーを中心に)」 講師 独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター 小児科 森田 駿 氏	伊万里支部推進員 30名 伊万里市 2名 有田町 1名 伊万里保健福祉事務所 2名 西九州大学 看護学科学学生 3名
R5年12月11日(月)	講演「アロマセラピーで心と体をリラックス&リフレッシュ～生活にゆとりと彩りを～」 講師 伊藤 美千代 氏	伊万里支部推進員 24名 伊万里市 1名 有田町 1名 伊万里保健福祉事務所 2名

(6) ハイリスク児に関する事例検討会

ハイリスク乳幼児や在宅の長期療養児童等については、保護者の不安も大きく、きめ細やかな養育支援が必要とされる。保健医療福祉関係者が連携し、継続的な育児支援を行うための連絡会を開催した。

年度	開催回数	内容	参加者
令和5年度	35回	・医療的ケア児ケース支援会議 ・就園・就学支援会議 ・災害時対応についての会議 ・市町との連絡会 等	医師、訪問看護師、市町保健師、市学校教育課、保育施設関係者、当所保健師、等

(7) 子育て支援地域サポート検討会

母子の健康水準を向上させるための国民運動計画「健やか親子21(第2次)」の推進及び「子育てし大県さが」プロジェクトの一環として、保健福祉事務所、管内市町をはじめ、関係支援機関等における支援者の資質向上と連携推進を目的として開催した。

年度	開催回数	内容	参加者
令和5年度	9回	①伊万里市母子連絡会(4回) ②有田町母子連絡会(4回) ③伊万里・有田地区子育て支援地域サポート検討会(1回) 「周産期のメンタルヘルスサポート」	①市保健師、伊万里保健福祉事務所保健師 ②市保健師、伊万里保健福祉事務所保健師 ③市町保健師、管内産婦人科、伊万里保健福祉事務所保健師

(8) 不妊の悩み支援事業

不妊で悩む夫婦などが、気軽に相談する事のできる体制を確立し、専門的な相談や情報提供を行い、不妊で悩む夫婦が各々の健康状態等に合った治療の選択が出来るように支援した。

相談方法及び相談人員

区分	電 話		面 接		計	
	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員
令和元年度	79	116	94	148	173	264
令和2年度	67	135	95	147	162	282
令和3年度	73	118	96	154	169	272
令和4年度	47	76	51	69	98	145
令和5年度	22	34	33	60	55	94

(9) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により長期にわたり療養を必要とする児童の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図るため、開催する研修会及び交流会

開催期日	内 容	参加者数
R5. 6. 10	1型糖尿病児と家族の交流会	6
R5. 6. 27	1型糖尿病児対応看護師等交流会	15
R5. 7. 6	ユーイング肉腫をもつ児の家族の交流会	5

(10) 思春期からの健康支援事業

性教育に従事する関係者が妊娠・出産・避妊などの健康問題だけでなく、家族やパートナー、自分自身への思いやりなど幅広い意味を持つ性の健康についての認識を高め、望まない妊娠や人工妊娠中絶を防止するために、開催する研修会

R5年度は「幼少期からの生・性教育について」をテーマに講話を実施した。

開催期日	場 所	参加者数
R5. 9. 29	伊万里市役所	36
R5. 10. 26	伊万里市民センター	15
R6. 3. 6	伊万里市子育て支援センターぼっぼ	15

(11) 児童虐待防止市町村支援事業

児童虐待防止のためには育児不安の軽減など母子保健福祉分野の取り組みが必要である。

管内市町の児童虐待防止対策への支援として、要保護児童対策地域協議会及び実務者会議への参加や会の運営等に対する助言・指導を行った。

また家庭訪問や関係機関との連絡調整等を行った。

	支援内容	
伊万里市	・地域協議会の開催、運営に関する検討 ・実務者会議開催に向けた支援	・ケース検討会への参加 ・困難事例への同伴訪問 / 等
有田町	・地域協議会及び実務者会議への参加 ・関係機関への研修開催への支援	・ケース検討会への参加 ・困難事例への同伴訪問 / 等

令和5年度

相談対応件数	2
--------	---

令和5年度

	医療機関	保育園・幼稚園	児童相談所	民生委員	市町関係機関	その他(DVセンター・教育機関・障害者支援等)
関係機関連絡延件数	0	0	1	0	2	0

(12) 母子父子寡婦福祉業務

ひとり親世帯は経済的困窮に対する問題や育児支援上の悩みを抱えた家庭が少なくない。

児童の養育と生計の維持は容易でなく、生活困窮と生活不安は増加傾向にある。

児童の養育、進学、就職等の相談には自立支援員が中心となり関係機関と連携を取り、ひとり親世帯の自立支援に努めた。

①ひとり親家庭への相談支援延件数

相談指導事項	生活一般							児童			経済的支援・生活援護							その他			合計				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	寡婦福祉資金	母子福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	訓練給付金	売店設置		たばこ販売	母子世帯向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設
R01年度				62				63						1,081					100						1,306
R02年度				4				24				2	1,062						88						1,180
R03年度			30	65				48					861		3				123				20		1,150
R04年度				44				69					851		0				49						1,013
R05年度	1		2	10				1					593						34			1			644

②母子父子寡婦福祉資金貸付状況

市町・年度		資金種類											合計	
		修学資金	就学支度資金	修業資金	技能習得資金	就職支度資金	事業開始資金	事業継続資金	医療介護資金	結婚資金	生活資金	転宅資金		住宅資金
伊万里市	令和3年度	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和5年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
有田町	令和3年度	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	令和4年度	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	令和5年度	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5
合計	令和3年度	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	令和4年度	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	令和5年度	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6

※複数年にわたる貸付については、貸付初年度にのみ計上

7 精神保健福祉

(1) 精神保健相談及び家庭訪問状況

医師による相談日を所内において定期的に開設し、本人及び家族の精神疾患や精神保健福祉相談を予約により実施した。また、保健師による電話相談及び面接相談も随時実施した。
さらに保健師による家庭訪問を実施した。

相談者数及びその内訳

令和5年度

区 分		相談者数(人)		対 象 者 内 訳 (人)							
		実	延	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他
精神相談	医師による相談	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0
	保健師による相談	21	43	0	0	6	2	0	2	27	6
	電話・メール相談		440	1	10	20	1	0	4	378	26
家庭訪問		21	100	0	0	8	0	0	0	7	85

(2) 自殺予防対策事業

全国の年間自殺者は平成24年に15年ぶりに3万人を下回り、減少傾向ではあるが、令和2年の自殺者数は11年ぶりに増加に転じ、その後高止まり傾向となっている。現在の厳しい雇用情勢、新型コロナウイルス感染症による影響等を踏まえ、追い込まれた人に対するセーフティーネットとして、地域における自殺対策の強化を図る。

○自殺予防施策の実施

①ゲートキーパー養成講座の開催

期 日	対 象 者	内 容
令和5年6月～10月	実習生(保健師学生・管理栄養士学生)計32名	・自殺の現状について、自殺を考える人の心理 ・ゲートキーパーの役割について
令和6年2月13日	伊万里市職員8名	・自殺の現状について ・メンタルヘルスとストレスケアについて ・ゲートキーパーの役割について
令和6年2月14日	有田町民生委員59名	・自殺の現状について、自殺を考える人の心理 ・ゲートキーパーの役割について ・ストレスケアについて
令和6年3月19日	伊万里市内の高齢者施設職員等約70名	・自殺の現状と高齢者の自殺 ・自殺に関する精神疾患 ・ゲートキーパーの役割について 等

②自殺未遂者支援検討会の開催:地域の関係者で情報交換や課題解決に向けた検討を行う

期 日	対 象 者	内 容
令和5年8月22日	救急告示及び精神科医療機関、警察、消防本部、弁護士会、市町等関係者	・伊万里有田地区における自殺の現状と取り組みについて ・関係機関の自殺未遂者への対応について

③自殺予防週間(9月10日～16日)、自殺対策強化月間(3月)における普及啓発活動

内 容	実 施 日	参加人数(人)	備 考
展示コーナーの設置 ・自殺予防に関するリーフレットを配置 ・メンタルヘルスに関するリーフレットを配置 ・自殺予防に関するパネル等の展示 ・自殺予防啓発用ウェットティッシュ 消毒用携行ジェルの配置	令和5年9月10日 ～令和5年9月16日 令和6年3月1日 ～令和6年3月31日		総合庁舎玄関ホール及び保健所玄関ホール、2F渡り廊下に展示
伊万里市図書館、有田町立図書館にて、「こころのとしょかん」を設置 ・こころの健康に関する本の展示 ・月間ポスター、のぼり旗の配置 ・メンタルヘルス等のリーフレット類の配置	令和6年3月1日 ～令和6年3月31日		伊万里市、有田町と共同で実施
キャンペーン 有田町主催の「ありた春フェス」に参加し、「こころの健康コーナー」を設置 ・自殺予防に関するパネル等の展示 ・月間ポスター、のぼりばたの配置 ・メンタルヘルス等のリーフレット類の配布	令和6年3月3日		有田町健康福祉課と共同で実施

(3) 自立支援医療受給者証、精神障害者手帳所持者数及び措置入院件数

年 度	措 置 入 院 件 数	精神障害者保健福祉手帳				自立支援医療
		手帳所持者総数	等級別内訳			受給者証所持者総数
			1級	2級	3級	
R2	3	559	31	385	143	1,227
R3	2	602	36	412	154	1,168
R4	3	632	40	414	178	1,209
R5	3	667	37	437	193	1,280

8 難病対策

(1) 難病相談、家庭訪問、患者・家族のつどい状況

神経系などの重症難病患者を中心に相談、家庭訪問を行った。

区分	医療相談		家庭訪問		個別相談		学習会(つどい)	
	回数	人数(延)	実人員	人数(延)	実人員	延人員	回数	人数(延)
R4	0	0	7	17	687	1,545	0	0
R5	2	4	4	24	702	1,498	2	26

(2) 訪問相談員育成に関する業務

難病対策を担当する職員、医療従事者等に対し研修会等を実施し、従事者の資質向上に努めている。 令和5年度

開催期日	事業名	場所	内容	参加者数
令和6年2月27日(火) 18:30~20:00	難病患者在宅療養支援研修会	伊万里保健福祉事務所別館大会議室	『筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅療養支援について』 講演 「ALSの症状と治療について」 講師 伊万里有田共立病院 診療部長 後藤 公文 先生 講演 「ALSの患者の在宅療養支援について」 講師 伊万里有田共立病院 地域連携室副室長 東 由紀子 先生	47名

(3) 特定医療費(指定難病)支給認定等に係る業務

「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、医療費助成(特定医療費(指定難病)受給者証)申請・届出の受付及び受給者証の交付を行うとともに、保健師等による相談を行った。

また、平成28年3月31日まで対象疾病306疾病から、平成29年4月1日より330疾病、平成30年4月1日より331疾病、令和元年7月1日より333疾患、令和3年11月1日から338疾患、令和6年4月1日から341疾病を助成対象としている。

(申請・届出受理状況)

年度	新規申請件数	更新申請件数	その他の申請・届出件数	受給者数※
R4	88	639	315	668
R5	85	647	292	686 (延べ数)

※3月31日時点の実受給者数(新年度5月審査会含む)

(4) 難病対策地域協議会

難病患者の在宅療養支援を円滑にするために、難病患者の現状と課題及び災害時の対応の対応についての意見を求め検討を行った。

令和5年度

開催期日	場所	内容	委員数
令和6年2月	伊万里保健福祉事務所別館大会議室	1 令和5年度難病対策事業報告 (1) 難病患者地域支援対策推進事業 ① 伊万里地区難病対支援ネットワーク会議 ② 難病患者在宅療養支援研修会 ③ 難病医療相談 ④ 訪問相談 (2) 重症難病患者一時入院事業 (3) 在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業(命の72時間事業) (4) 難病患者災害時避難支援等体制整備 2 指定難病患者の状況報告 (1) 特定医療費(指定難病)受給者数の年次推移(県、管内) 3 協議事項 (1) 管内における難病患者の現状と課題について ・療養状況について(「令和5年度療養状況確認・災害対策のための調査票」より) ・災害時避難行動要支援者個別支援計画策定の進捗状況について 4 その他	18名

9 原爆被爆者対策

広島市及び長崎市に投下された原子爆弾により被爆を受け、今なお健康被害に苦しむ被害者の健康保持増進及び福祉の向上を図るため、被爆者援護法に基づく指定医療機関での医療給付、健康診断、希望者に対するがん検診、各種手当の支給援助を行っている。

(1)原爆被爆者手帳交付状況 令和6年3月31日現在

	被爆者健康手帳	受診者証	計
佐賀県	550	41	591
管内	49	0	49
伊万里市	38	0	38
有田町	11	0	11

(2)被爆者健康診断実施状況 令和5年度

	第1回(5月～6月)	第2回(10月～11月)
対象者数	52人	52人
一般検査受診者	9人	7人
受診率	17.3%	13.5%
要精密検査者数	0人	0人
要精密率	0.0%	0.0%

(3)被爆者がん検診実施状況 令和5年度

	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精密者数	要精密率(%)	特別検査
胃がん	52人	0人	0.0%	0人	0.0%	
肺がん	52人	3人	5.8%	0人	0.0%	喀痰細胞診 1人
乳がん	52人	0人	0.0%	0人	0.0%	
子宮がん	52人	0人	0.0%	0人	0.0%	
大腸がん	52人	2人	3.8%	1人	50.0%	
多発性骨髄腫	52人	2人	3.8%	0人	0.0%	
合計	52人	7人	13.5%	1人	14.3%	

(4)被爆者手当等受給状況 令和6年3月31日現在

手当	件数	支給条件
医療特別手当	0	原爆が原因でなった傷病の状態にあると厚生労働大臣の認定を受けた者で、現にその疾病の状態にある人
特別手当	0	上記と同様の認定を受けた者で、現在はその傷病が治った人
健康管理手当	38	被爆者で造血機能障害、肝臓機能障害等、厚生労働省令で定める障害(11種)にかかっている人
保健手当	3	被爆地から2キロメートル以内で直接被爆した人と、その人の胎児であった人
介護手当	0	原爆の影響による精神上又は身体上の障害のために、費用を支出して介護人を雇っている人。もしくは家族に介護してもらっている人。
葬祭料	2	被爆者が死亡した場合は、葬祭を行う人に対して支給

10 栄養・健康づくり推進

国において「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針（平成24年7月）」が改定され、本県においても、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、生活習慣や社会環境の改善を通じて、「県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を目指した新たな健康増進計画「第3次佐賀県健康プラン」（R5～R17年度）を策定した。運動期間は、国の健康づくり運動と同様に、令和6年度から令和17年度までの12か年とし、令和11年度に中間評価を行い、必要に応じて見直しを行う。

(1)健康アクション佐賀21推進事業

①伊万里・有田地区健康プラン地域・職域協議会

令和5年度末現在

期 日	構成委員	内 容
第1回協議会 令和3年3月 〔書面開催〕	地区医師会 地区歯科医師会 地区薬剤師会 看護協会北部地区支部 栄養士会伊万里支部 伊万里市農業協同組合 伊万里市食のまちづくり推進委員会 伊万里市食生活改善推進協議会 有田町消費者グループ協議会 伊万里商工会議所 有田商工会議所 伊万里労働基準監督署 全国健康保険協会佐賀支部 伊万里市、有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の取組状況について ・佐賀県「ストップ糖尿病」対策事業について ・令和3年度の事業計画(案)について

※令和3年度～5年度は未開催

②市町健康づくり計画策定状況

市 町	策定年月	計画名	計画期間
伊万里市	平成13年 3月策定	伊万里市いきいき健康づくりプラン21	H13～H24年度
	平成25年 3月策定	第2期伊万里市いきいき健康づくりプラン21	H25～R5年度
有田町	平成20年 3月策定	有田町健康プラン	H20～H24年度
	平成25年 3月策定	有田町健康プラン(第二次)	H25～R5年度

※市町健康づくり計画においても運動期間を令和5年度まで延長された。

(2)地域・職域連携推進事業

①二次医療圏単位組織の運営

※伊万里・有田地区健康プラン地域・職域協議会

②ワーキンググループ会議の開催

令和5年度末現在

期 日	構成委員	内 容
R5年度開催なし		

③連携事業の実施

令和5年度末現在

内 容	期 日	人 数	内 容
全国安全週間説明会	令和5年6月7日	120名	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の取り組み ・健康づくり等に関する情報提供
全国労働衛生週間説明会	令和5年9月8日	100名	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の取り組み ・SAGATOCO他、健康づくりに関する情報提供

(3) 糖尿病対策事業

糖尿病治療の医療連携を促進し、受療中の患者に対する適切な療養指導を行うことにより、糖尿病の重症化や合併症の予防を図っている。
また、併せて、糖尿病の発症を予防するために、適切な食生活や運動習慣等の実践に結びつくよう環境を整備している。

① 糖尿病疾病管理強化対策事業〔「佐賀県糖尿病連携手帳」普及・活用セミナー〕

令和5年度

期 日	対象者	人数	内 容
令和6年2月3日(土) 14:00～16:20	医療機関コメディカルスタッフ、 行政関係者 等	21	<ul style="list-style-type: none"> ・多種職連携による糖尿病患者支援の必要性及び手帳改訂の概要について(医師) ・糖尿病連携手帳(改訂)を活用した療養指導と関係機関との連携について(看護師)

② 食の環境整備事業

【飲食店等に対する指導件数】

令和5年度

スマートミール認証の基準に合致する飲食店	0 店舗
うまっ！ヘルシーの基準を満たす食事を提供する飲食店	27店舗 (新規0店舗)
飲食店からの相談(延回数)	1 回
飲食店への情報提供(延店舗数)	30 店舗

【消費者に対する健康な食事を提供する飲食店の普及啓発】

令和5年度

情報提供(延人数)	924 人
-----------	-------

【「健康な食事(うまっ！ヘルシー)」を提供する飲食店一覧】

健康的な食事を提供する店舗や事業所を普及するため、令和2年度より、健康な食事の提供店「うまっ！ヘルシー」制度を開始している。

令和5年度末現在

No.	表示店名	市町名	No.	表示店名	市町名
1	喜楽	有田町	17	ダイニングキッチン風の丘	伊万里市
2	蕎麦 美吉	有田町	18	ミニレストラン クック	有田町
3	焼肉 かむら	有田町	19	レストラン むーらん	伊万里市
4	キッチンランマ	有田町	20	伊万里温泉白磁の湯	伊万里市
5	レストランまるいし	有田町	21	レストラン 石けり	伊万里市
6	九州惣菜Aコープブリス店	有田町	22	民家レストラン伊万萬亭	伊万里市
7	麵処 川	有田町	23	ロジエ	伊万里市
8	kasane	有田町	24	手作りお弁当とデリのテイクアウト専門店hakobune	有田町
9	ひとふし	有田町	25	カフェ&キッチンM	伊万里市
10	しほみ食堂	伊万里市	26	チャイナキッチン 和	伊万里市
11	モンブーシェ	伊万里市	27	会席料理 仕出し東屋	有田町
12	カフェレント	伊万里市			
13	ラーメン太郎	有田町			
14	和食処 赤絵	有田町		伊万里市 11店舗(新規0店舗)	
15	しえ・もあ藤	伊万里市		有田町 16店舗(新規0店舗)	
16	ギャラリー有田	有田町		合計 27店舗(新規0店舗)	

※登録済店舗にて新規メニュー登録1件あり。

③糖尿病発症予防のための普及啓発事業

令和5年度

事業名	実施日及び開催場所	対象及び人数	内 容
レシピ提供	春・夏・秋・冬の年4回管内直売所	直売所 6カ所	野菜レシピを1回あたり4品1カ所40枚配布。店に設置し買い物客に提供。

(4)低栄養予防対策事業

地域で高齢者を支援する関係者が、高齢者の食の課題を共有し、課題解決のための方策を検討するとともに、食に関する必要なサポート体制を整備する。

令和5年度末現在

期 日	構成委員	内 容
地域高齢者の食をサポートする検討会・研修会 令和6年2月29日	低栄養予防、在宅栄養管理に係る管理栄養士、保健師、ケアマネージャー 等	(1) 事業説明 (2) 伊万里市・有田町で関わった事例紹介・意見交換 (3) 地域高齢者の栄養管理に関する情報共有・情報交換

(5)ストップ糖尿病対策事業

かかりつけ医、専門医療機関、医療保険者、関係団体等、糖尿病の予防と治療に係る関係者間で情報共有し、連携して対策に取り組むことすることで、患者数の減少や重症化の予防を図る。

令和5年度末現在

期 日	構成委員	内 容
第1回対策会議 令和5年9月26日	地区医師会 地区歯科医師会 透析医部会 基幹病院 地区薬剤師会 看護協会北部地区支部 栄養士会伊万里支部 佐賀県糖尿病療養指導士会伊万里・有田支部 佐賀県国民健康保険団体連合会 健康保険組合連合会佐賀連合会 公立学校共済組合佐賀支部 伊万里市、有田町	(1)当地区における糖尿病対策の取組状況について ・保健福祉事務所 ・各団体 ・伊万里市 ・有田町 ・基幹病院 (2)当地区の糖尿病栄養指導状況について (3)その他

(6)たばこ対策推進事業

健康増進法改正において受動喫煙防止対策が義務化され、更なる受動喫煙に関する普及啓発に努め、禁煙・分煙・防煙の3つの柱を中心にたばこ対策の推進を図る。

全ての小・中学校で防煙教育が実施され、保健福祉事務所では実施状況の取りまとめなどを行った。

防煙教育

令和5年度

	小学校数	人員	中学校数	人員
伊万里市	15	508	8	478
有田町	4	191	2	149

(7) 地区組織育成支援

① 研修会の開催

令和5年度

期 日	対象者	人員	内 容
令和5年 8月4日	食生活改善推進員 役員・事務局	19名	・各事業の進め方について ・令和5年度事業の進捗状況について
令和5年 10月4日	食生活改善推進員 役員・事務局	16名	・災害時の食の備えについて ・食中毒予防 基本の手洗いについて

② 食生活改善地区組織の育成状況

令和6年4月末日現在

単 位	組 織 名	会長名	設立年月日	会員数
伊万里市	伊万里市食生活改善推進協議会	長野 実佳	昭和44年12月10日	256名
有田町	有田町食生活改善推進協議会	池田 美代子	平成18年5月30日	44名
保健福祉事務所 単位	伊万里・西松浦地区食生活 改善推進協議会	長野 実佳	昭和48年6月11日	300名

(8) 栄養士・調理師免許事務

令和5年度(単位:件)

区 分	申請	書換え	再交付
調 理 師	14	2	3
栄 養 士	7	8	3
管理栄養士	0	4	0
計	21	14	6

(9) 健康増進指導状況(栄養・運動等指導)

令和5年度

		個別指導延人員							集団指導延人員							
		栄養 指導	(再掲)	(再掲)	運動 指導	(再掲)	休養 指導	禁煙 指導	その他	栄養 指導	(再掲)	運動 指導	(再掲)	休養 指導	禁煙 指導	その他
			病態別 栄養指導	訪問による 栄養指導		病態別 運動指導					病態別 栄養指導		病態別 運動指導			
実施 数	妊産婦															
	乳幼児															
	20歳未満 (乳幼児を除く。)															
	20歳以上 (妊産婦を除く。)							1	203							
	計							1	203							

(10) 特定給食施設関係者研修会

令和5年度

開催期日	対象者	人員	内 容
令和5年9月6日	保育所、認定こども園、小規模保育事業所等 栄養・給食管理担当者 等	36名	講話①給食施設における衛生管理について 講師 衛生対策課 前山 技師 講話②保育所の災害時の食の備え・マニュアルについて 講師 健康推進課 江口 意見交換 災害時の食の備えについて
令和5年9月27日	管内特定給食施設・行政管理栄養士・栄養士 等	24名	講話①「災害時の食の備え」に対する取組の現状について 講師 介護老人保健施設 ケアポート楽寿園 管理栄養士 中平紘子 氏 講話②高齢者施設での「災害時の食の備え」に携わった経験を踏まえて 講師 健康推進担当 岩永 意見交換 各施設での災害対策の状況について

(11) 特定給食施設数及び指導状況

令和5年度末現在

施設の種類	施 設 数		個別指導回数(延)	集 団 指 導		
	特定給食施設	その他の施設		回数	施設件数	内 容
学 校	8	2	0	2	60	上記(10)に同じ
病 院	6	3	13			
介 護 老 人 保 健 施 設	3	0	1			
介護医療院	0	1	0			
老人福祉施設	5	15	7			
児童福祉施設	8	24	51			
社会福祉施設	1	2	0			
寄 宿 舎	0	1	0			
そ の 他	2	19	1			
計	33	67	73			

(12) 管理栄養士養成施設学生の公衆栄養学実習指導

令和5年度

実習期間	養成施設名	人 員	内 容
集中講義 5月30日		19	保健福祉事務所事業概要
6月19日～6月23日	西九州大学	4	<ul style="list-style-type: none"> 健康アクション佐賀21事業 地域・職域連携推進事業 食の環境整備モデル事業 特定給食施設指導 健康プラン人材育成事業 市町村栄養士活動状況
8月21日～8月25日	西九州大学	4	
9月4日～9月8日	西九州大学	4	
10月2日～10月6日	長崎国際大学	4	
10月2日～10月6日	中村学園大学	2	

(13) 健康づくり市町指導

令和5年度

	伊万里市	有田町	計	栄養業務検討会	
所 内	2	2	4	3回 開催	<ul style="list-style-type: none"> 栄養・健康づくり事業の取組状況について 地域の健康課題について 等
所 外	3	0	3		

(14) 食品表示法等に基づく食品表示に関する相談・指導

令和5年度

区 分	相 談	調 査	計
件 数	14件	1件	15件

11 歯科保健

(1) 障害(児)者等歯科保健事業

○障害(児)者等歯科相談

障害(児)者等は、本人による口腔ケアが不十分であることが多く、う蝕、歯周疾患に罹患しやすい。また、罹患すると、通院や治療が困難等の理由から、重症化リスクが高いため、セルフケア支援による予防と早期発見が重要である。

地域での障害(児)者の歯科に係る医療、保健、福祉の連携の推進及び障害(児)者及び家族の歯科に対する理解を深めることにより障害(児)者の健康増進を図ることを目的として実施。

開催期日	場 所	相 談 者	従 事 者			
			歯 科 医 師	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師
令和3年度	新型コロナウイルスの影響で事業中止					
令和4年度	新型コロナウイルスの影響で事業中止					
令和5年度	大坪コミュニティセンター	障害者及びその家族	1	0	0	2

(2) フッ化物洗口従事者研修会

県は、むし歯予防に極めて有効なフッ化物を永久歯が生える時期に積極的に応用するため、保育所・幼稚園、学校でのフッ化物洗口の普及を図っている。

そこで、フッ化物洗口について、関係者の理解をより深め、適正な実施を図ることを目的として、従事者等を対象とした研修会を実施した。

開催期日	対象者	場 所	内 容	出席人数
令和3年 8月23日 ～8月31日	保育所・幼稚園 小・中学校 市町 等	YouTube視聴研修	(1) 講演1 「フッ化物洗口とむし歯予防」 講師：九州大学大学院歯学研究院 口腔予防医学分野 古田 美智子 先生 (2) 講演2 「確認しましょう！フッ化物洗口」 講師：佐賀県歯科衛生士会 小部 素子 氏	36名
令和4年度	新型コロナウイルスの影響で事業中止			
令和5年8月25日(金) 14時00分～15時45分	保育所・幼稚園 小・中学校 市町 等	伊万里保健福祉事務所 別館大会議室	(1) 講演 「こどもの健康格差の縮小について ～フッ化物応用の重要性」 講師：佐賀県歯科医師会地域保健部 ますもとけんこう歯科 院長 舛元 康浩 氏 (2) 紹介 「子どもの口腔機能の向上にむけて～「めざせ！かむことマスター」の紹介～」 株式会社ロッテ ESG推進部 食育推進課 課長 池田なつき 氏 (3) 講演・実技指導 「効果的なフッ化物洗口の実技等について」 講師：堀江歯科診療所 歯科衛生士 江口 むつ子 氏	51名

12 肝疾患対策

佐賀県は、がんによる死亡率が全国的に高位であり、中でも肝がんによる死亡率は平成11年から全国ワースト1位の状況が続いていたが、平成30年にワースト1位から脱却した。肝がんの原因の約9割は肝炎ウイルスによるものと考えられている。県内指定医療機関での無料検査も含め、地域、職域に関わらず肝炎検査受診勧奨に努めている。また、その後の精密検査、定期検査受診勧奨、治療費助成事業の周知等、肝疾患対策事業を通して肝がん予防に取り組んでいる。

(1) 伊万里・有田地区市民公開講座

保健所管内の肝疾患対策のために、管内の住民及び医療機関等の保健指導従事者の肝疾患への知識向上及び助成制度普及を目的として研修を行っている。

開催期日	開催場所	参加人数	研修内容
令和5年度	伊万里市民図書館ホール	84名	講演①「肝炎ウイルスと肝がんを学ぼう！」 講演②「ピロリ菌と胃がんを学ぼう！」 講演③「ヒトパピローマウイルスと子宮頸がん」
令和4年度			新型コロナウイルスの影響で事業中止
令和3年度			新型コロナウイルスの影響で事業中止

(2) 肝炎治療費助成事業(平成20年度～)

この事業は、B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防を図るため、インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療並びにインターフェロンフリー治療等に係る医療費に対して助成するものである。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
申請 件数	インターフェロン治療(新規・2回目・テラプレビル・シメプレビル)	0	0	0	0	0	0	
	インターフェロンフリー治療	10	8	6	12	4	7	
	核酸アナログ製剤治療	新規	2	5	3	4	4	2
		継続	79	78	34	75	76	84
承認 件数	インターフェロン治療(新規・2回目・テラプレビル・シメプレビル)	0	0	0	0	0	0	
	インターフェロンフリー治療	10	8	6	12	4	7	
	核酸アナログ製剤治療	新規	2	5	3	4	4	2
		継続	79	78	34	75	76	84

* 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月1日～令和3年2月28日の間に有効期間が満了する受給者は有効期間が1年延長となった。

13 感染症対策

(1)市町別 結核患者発生状況

全国の結核患者数は近年、減少傾向にあるが、依然として結核は、我が国最大の慢性感染症である(令和4年新登録患者数は10,235人)。佐賀県は全国的な傾向と同様、新登録患者数は減少傾向にあり、結核罹患率は全国の結核罹患率とほぼ同様である。管内の結核罹患率は全国、佐賀県と比べて高い傾向にある。また、平成24年以降の新登録患者の半数以上が70歳以上となっており、高齢者が多い状況である。

佐賀県の結核に関する詳細な統計は、佐賀県感染症情報センターのホームページから、『佐賀県の結核2022』(<https://kansen.pref.saga.jp/kekkaku/saganokekkaku/kekkaku2019.pdf>)をご参照ください。

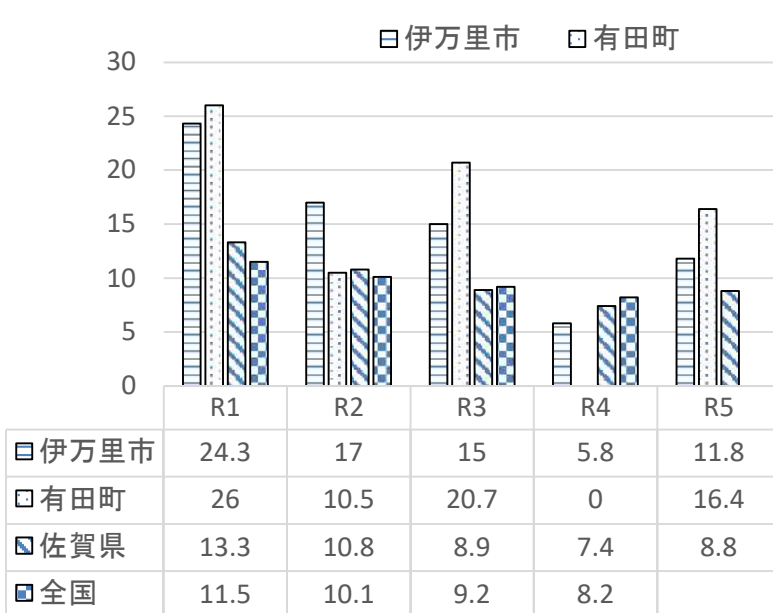
●結核患者発生届け出による新規登録者数と活動性分類

令和5年12月31日現在

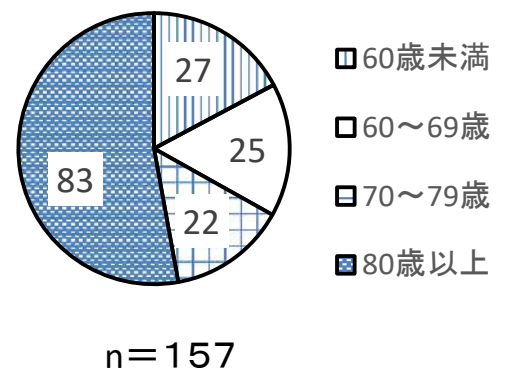
区分	罹患率 (人口10万対)	活動性結核						潜在性結核感染症 (別掲)
		計	肺結核活動性			肺外結核		
			計	喀痰塗抹陽性	その他の菌陽性		菌陰性・その他	
佐賀県	8.8	70	52	25	22	5	18	25
管内計	13.0	9	6	1	4	1	3	1
伊万里市	11.8	6	4	0	3	1	2	1
有田町	16.4	3	2	1	1	0	1	0

*罹患率は、1月1日～12月31日の1年間に新たに発生した患者の人口10万人に対する比率

管内市町別結核罹患率（令和元年～令和5年）



管内の結核患者の年齢構成（H24年以降）



*全国のR5の結核罹患率は集計中

(2)市町別 結核患者年末登録者数

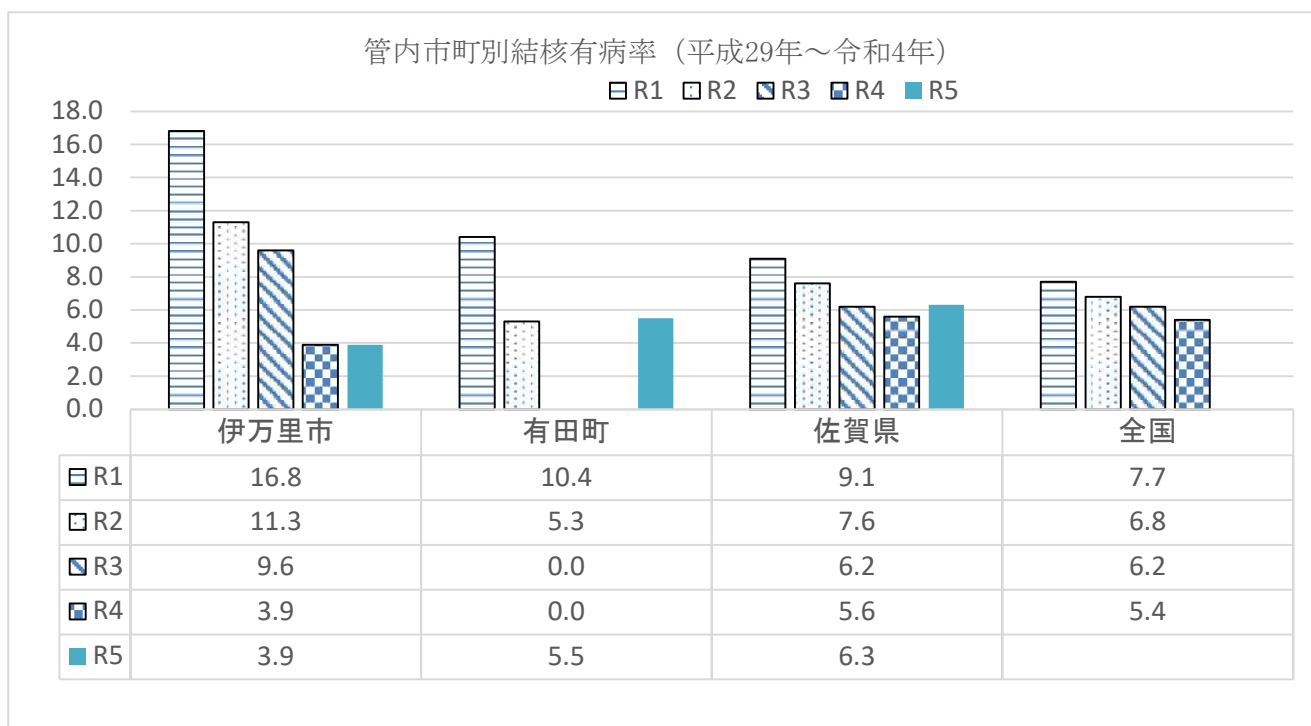
令和5年末、佐賀県の登録患者数は150人(うち活動性結核患者数は50名)、伊万里管内は15人(うち活動性結核患者数は3名)であった。*潜在性結核感染症を除いた数

●保健福祉事務所で登録管理している結核患者数と活動性分類及び有病率

令和5年12月31日現在

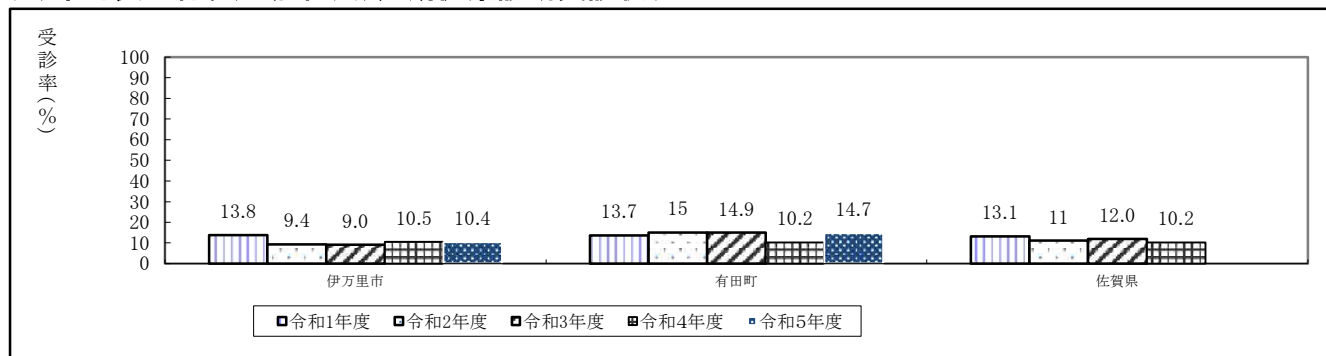
区分	有病率 (人口 10万対)	活動性結核						不活動性 結核	活動性 不明	(別掲) 潜在性 結核 感染症
		計	肺結核(登録時)				肺外結 核			
			計	喀痰塗抹 陽性	その他 の 菌陽性	菌陰性・ その他				
佐賀県	6.3	50	36	16	16	4	14	76	24	52
管内	4.3	3	2	1	0	1	1	12	0	1
伊万里市	3.9	2	1	0	0	1	1	10	0	1
有田町	5.5	1	1	1	0	0	0	2	0	0

*有病率は、12月末日現在の活動性結核患者の人口10万人に対する比率



*R5の全国の結核有病率は集計中

(3) 市町長の行う(一般住民)定期健康診断受診状況



*平成17年度より対象者は「65歳以上の者」と、「その他必要と認められた者」となった。

○市町長の行う(一般住民)定期健康診断受診状況

令和5年度

区分	対象者	受診者	受診率(%)
管内	24,267	2,817	11.6
伊万里市	17,487	1,819	10.4
有田町	6,780	998	14.7

(4) 患者家族に対する結核接触者健康診断実施状況

(延人数)

年度	対象者数	受診者数	受診率	検査項目※					健診結果		
				ツベルクリン反応検査			胸部X線検査	I G R A検査者数	要医療	発見率	要観察※
				被注射者数	被判定者数	陽性者数					
	人	人	%	人	人	人	人	人	人	%	人
R3年度	12	12	100.0	1	1	0	4	8	0	0	0
R4年度	11	11	100.0	0	0	0	5	6	0	0	0
R5年度	8	8	100.0	0	0	0	1	7	0	0	5

※「要観察」にはQFT(+)、判定保留で経過観察中の者を含む

※「検査項目」は、重複あり

(5) 接触者に対する結核接触者健康診断実施状況

(延人数)

年度	対象者数	受診者数	受診率	検査項目※					健診結果		
				ツベルクリン反応検査			胸部X線検査	I G R A検査者数	要医療	発見率	要観察
				被注射者数	被判定者数	陽性者数					
	人	人	%	人	人	人	人	人	人	%	人
R3年度	340	339	99.7	1	1	0	101	237	0	0	0
R4年度	27	26	96.3	0	0	0	20	4	0	0	5
R5年度	17	17	100	0	0	0	8	1	0	0	3

※「要観察」にはQFT(+)、判定保留で経過観察中の者を含む

※「検査項目」は、重複あり

(6) 管理検診実施状況

年度	対象者数	受診者数				健診結果			
		委託機関実施	定期病状調査	医療機関受診	計	受診率(%)	要医療	要観察	治癒
H29	49	34	0	12	48	98	0	36	12
H30	39	21	3	15	39	100	1	25	13
R1	43	25	3	14	42	98	0	27	15
R2	54	43	0	10	53	98	0	51	2
R3	64	51	0	12	63	98	0	39	24
R4	37	29	0	7	36	97	0	30	6
R5	28	20	0	6	26	93	0	15	11

※延人数

(7) 結核患者家庭訪問等指導状況

年度	年末登録者数	訪問指導・来所相談										電話による相談		
		件数		目的									件数	
		実人員	延人員	本人(延件数)					家族等(延件数)				実人員	延人員
				登録時面談	受療の勧奨	管理検診勧奨	服薬等の指導	その他	健診受診勧奨	感染防止指導	その他			
H29	47	26	186	15	2	2	156	0	5	4	3	5	27	
H30	26	28	146	16	0	6	107	57	10	3	11	18	42	
R1	44	44	238	21	0	15	61	189	1	1	34	18	71	
R2	39	27	106	10	0	8	20	86	4	0	23	43	86	
R3	33	15	60	9	0	3	42	47	2	2	5	68	115	
R4	20	7	22	4	0	1	20	15	1	0	3	30	61	
R5	16	19	111	13	1	3	82	28	3	4	14	12	63	

(8) 結核医療公費負担申請状況 (感染症診査協議会(結核部会))

年度	結核患者の医療 (感染症法37条の2)				入院(勧告)患者の医療 (感染症法37条)			
	申請件数	合格患者	左の内訳		申請件数	合格件数	左の内訳	
			承認	不承認			承認	不承認
R1年度	41	41	41	0	31	31	31	0
R2年度	18	18	18	0	38	38	38	0
R3年度	23	23	23	0	26	26	26	0
R4年度	8	8	8	0	8	8	8	0
R5年度	14	13	13	1	11	10	10	1

(9) 入院勧告患者状況

年度	前年度末数	新たに入院勧告した患者数	入院勧告を解除した患者数	年度末数
R1年度	2	10	10	2
R2年度	2	11	9	4
R3年度	4	6	10	0
R4年度	0	3	2	1
R5年度	1	4	4	1

(10) 伊万里保健福祉事務所管内における感染症発生状況

分類	感染症名	R2年		R3年		R4年		R5年	
		患者	無症状病原体保有者	患者	無症状病原体保有者	患者	無症状病原体保有者	患者	無症状病原体保有者
二類感染症	結核	11	2	12	9	3	0	8	1
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	2	4	0	0	0	3	0
四類感染症	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	0
	重症熱性血小板減少症候群	1	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	2	0	0	0	2	0
五類感染症	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2		0		0		2	
	急性脳炎	0		0		0		0	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	0
	百日咳	6		1		0		0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0		1		0		0	
	梅毒	5	1	3	2	4	2	8	2
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	10	3	22	4				
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症			204	55	12,034	323	1,016	

※百日咳……H30.1.1～小児科定点報告疾患から全数届出疾患へと変更。

※新型コロナウイルス感染症……R3年2月3日から「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更。
R5年5月8日から「5類感染症」となった。(定点報告に変更)

(11)伊万里保健福祉事務所管内における感染症発生動向調査

国・県・保健所を結ぶオンラインシステムにより、感染症の患者発生を迅速に把握し、併せて病原体の検索を行い、情報を還元することにより、感染症の未然防止を図る。

週報は、毎週水曜日に記者発表を行い木曜日の新聞に掲載されている。

●感染症発生状況 [五類感染症定点報告(罹患数)]

【週報分】

区分	疾病名	R3年	R4年	R5年	区分	疾病名	R3年	R4年	R5年
インフルエンザ (鳥インフルエンザ除く) /COVID-19	インフルエンザ (鳥インフルエンザ除く)	0	11	2,689	基 幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	1	0	0
	新型コロナウイルス感染症	/	/	2,365		無菌性髄膜炎	0	0	0
小 児 科	RSウイルス感染症	355	166	289		マイコプラズマ肺炎	10	3	2
	咽頭結膜熱	91	58	275		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	78	23	314		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)	0	0	0
	感染性胃腸炎	505	534	610	眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	/	/	/
	水痘	38	9	14		流行性角結膜炎	/	/	/
	手足口病	202	118	279	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の一部改正(H15.11.5施行)により、対象疾病の追加・変更及び疾病分類が変更(一～四類から一～五類へ)。				
	伝染性紅斑	0	3	0					
	突発性発しん	99	92	96					
	ヘルパンギーナ	27	46	292					
	流行性耳下腺炎	0	0	1					

※週報定点数：小児科定点(3)、インフルエンザ/COVID-19定点(5)、基幹定点(1)、眼科定点(0)

注)1.インフルエンザ・・・H15.11.5～以降、鳥インフルエンザを除くに変更。

インフルエンザ・・・平成21年分は、平成21年8月25日以降に診断された新型インフルエンザ(A/H1N1)を含む。

2.急性脳炎・・・H15.11.5～以降、ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除くに変更。

3.百日咳・・・H30.1.1～小児科定点報告疾患から全数届出疾患へと変更。

4.新型コロナウイルス感染症・・・R5.5.8～全数報告疾患からインフルエンザ/COVID-19定点報告疾患へと変更。

【月報分】

区分	疾病名	R3年	R4年	R5年
S T D	性器クラミジア感染症	62	81	65
	性器ヘルペスウイルス感染症	0	1	1
	尖圭コンジローマ	7	4	10
	淋菌感染症	22	27	26
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ 球菌感染症	67	108	32
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

※月報定点数：STD定点(1)、基幹定点(1)

(12) エイズ講演会及び相談・HIV抗体検査

エイズは依然として増加傾向にあり、エイズに対する理解と関心を高め、感染症の未然防止、正しい知識の普及啓発活動を図るため、検査、相談、指導、感染者の受入体制等の充実を推進している。高等学校1年生を対象としたエイズ予防講演会は、新型コロナウイルスの影響で、中止をした年度もあったが、令和5年度より再開している。

伊万里保健福祉事務所では、毎月第1・第4火曜日9時から11時まで、HIVの抗体検査を、匿名及び無料で実施し、相談は随時電話で受け付けている。又、6月のHIV検査普及週間及び12月1日の世界エイズデーにも夜間エイズ検査を実施している。

① エイズ講演会

年 度	対象者	回 数	受 講 者 数
H29	高等学校生徒	8	893
H30	高等学校生徒	8	847
R1	高等学校生徒	8	808
R2	新型コロナウイルスの影響で中止		
R3	新型コロナウイルスの影響で中止		
R4	動画視聴にて実施。 新型コロナウイルスの影響で希望校なし。		
R5	高等学校生徒	7	1,029

② エイズ相談・HIV抗体検査の推移

年 度	エイズ相談件数(相談のみ)		HIV抗体検査件数	
	伊万里 保健福祉事務所	佐賀県	伊万里 保健福祉事務所	佐賀県
H28	33	221	31	558
H29	25	257	37	608
H30	35	384	29	690
R1	31	446	34	679
R2	19	276	18	323
R3	45	276	25	219
R4	49	301	24	177
R5	58	531	21	575

③ 世界エイズデー関連行事

- ・夜間エイズ相談、検査の実施（令和5年度は11月29日(水)、12月1日(金)）
- ・普及・啓発のためのポスター展示、パンフレット、ポケットティッシュの配布等

④ HIV検査普及週間関連行事

わが国のHIV感染者・エイズ患者新規報告数は依然として増加傾向にあり、診断時に既にエイズを発症している事例が3割を占めている状況から、早期発見のための検査の機会を逸していることも考えられる。

このような状況を踏まえ、12月の世界エイズデー普及啓発活動に加え、18年度よりHIV検査普及週間創設された。普及週間関連事業として、夜間の相談・検査を実施し、検査・相談体制の充実強化を図っている。

＜実施内容＞

- ・夜間エイズ相談、検査の実施
- ・普及・啓発のためのポスター展示、パンフレット、ポケットティッシュの配布等

14 環境衛生

健康で住み良い生活環境を維持するため、関係法令に基づき生活衛生施設及びライフラインである水道関係施設の整備と衛生管理を徹底するよう指導した。

(1) 生活衛生関係施設等数

①市町別生活衛生営業施設数

令和6年3月31日現在

市町名	旅館	興行場	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング所	合計
管内計	83	4	13	77	181	48	406
伊万里市	60	1	7	52	141	35	296
有田町	23	3	6	25	40	13	110

②市町別特定建築物施設数

令和6年3月31日現在

市町名	事務所	店舗	百貨店	旅館	集会場	その他	合計
管内計	3	3	0	2	4	2	14
伊万里市	3	3	0	2	3	1	12
有田町	0	0	0	0	1	1	2

注)その他:興行場・遊技場・図書館・博物館・美術館

③市町別ビル管理登録業数

令和6年3月31日現在

市町名	建築物環境衛生総合管理業	建築物清掃業	ねずみこん虫等防除業	飲料水貯水槽清掃業	排水管清掃業	その他	合計
管内計	2	2	1	5	1	0	11
伊万里市	2	1	1	3	0	0	7
有田町	0	1	0	2	1	0	4

注)その他:飲料水水質検査業・空気環境測定業・空調用ダクト清掃業

(2) 市町別水道施設数及び簡易専用水道施設数

令和6年3月31日現在

市町名	水道施設						簡易専用水道
	国認可上水道	県認可上水道	簡易水道	専用水道	小規模水道	合計	
管内計	1	1	6	0	4	12	88
伊万里市	1	0	6	0	4	11	71
有田町	0	1	0	0	0	1	17

(3) 市町別水道普及率 (令和5年3月31日現在)

市町	普及率%
伊万里市	98.3
有田町	99.6
管内	98.7
佐賀県	95.9
全国	98.2

(全国は令和4年3月31日現在)

15 食品衛生

(1) 市町別食品営業許可施設数

令和3年6月1日付で施行された改正食品衛生法により、法律及び条例で規定された営業許可制度が、法律で32業種の許可、その他は届出となる制度となった。当所は、基準に合った施設の許可・届出や、許可後の食品関係施設の監視指導を行って食中毒等の発生防止、違反(不良)食品等の排除に努めている。

令和6年3月31日現在

業種	市 町	合 計	伊 万 里 市	有 田 町	管 轄 外
① 飲食店営業 (新法)		528	286	106	136
飲食店営業 (旧法)		453	244	125	84
② 調理の機能を有する自動販売機					
③ 食肉販売業 (新法)		11	10	1	
食肉販売業 (旧法)		16	9	7	
④ 魚介類販売業 (新法)		16	13	3	
魚介類販売業 (旧法)		26	19	7	
⑤ 魚介類競り売営業 (新法)					
魚介類競り売営業 (旧法)					
⑥ 集乳業 (新法)					
集乳業 (旧法)					
⑦ 乳処理業 (新法)					
乳処理業 (旧法)					
⑧ 特別牛乳搾取処理業					
⑨ 食肉処理業 (新法)		9	7	2	
食肉処理業 (旧法)		8	4	4	
⑩ 食品の放射線照射業 (新法)					
食品の放射線照射業 (旧法)					
⑪ 菓子製造業 (新法)		62	42	20	
菓子製造業 (旧法)		57	28	20	9
⑫ アイスクリーム製造業 (新法)		2	1	1	
アイスクリーム製造業 (旧法)		8	4	1	3
⑬ 乳製品製造業 (新法)		1	1		
乳製品製造業 (旧法)					
⑭ 清涼飲料水製造業 (新法)					
清涼飲料水製造業 (旧法)		1	1		
⑮ 食肉製品製造業 (新法)		1	1		
食肉製品製造業 (旧法)					
⑯ 水産製品製造業		5	5		
⑰ 氷雪製造業 (新法)					
氷雪製造業 (旧法)					
⑱ 液卵製造業					
⑲ 食用油脂製造業 (新法)					
食用油脂製造業 (旧法)					
⑳ みそ又はしょうゆ製造業		8	7	1	
㉑ 酒類製造業 (新法)		3	2	1	
酒類製造業 (旧法)		3	2	1	
㉒ 豆腐製造業 (新法)		2	2		
豆腐製造業 (旧法)		4	3	1	
㉓ 納豆製造業 (新法)					
納豆製造業 (旧法)					
㉔ 麺類製造業 (新法)		3	2	1	
麺類製造業 (旧法)		5	3	2	
㉕ そうざい製造業 (新法)		25	17	8	
そうざい製造業 (旧法)		17	11	6	
㉖ 複合型そうざい製造業					
㉗ 冷凍食品製造業		3	3		
㉘ 複合型冷凍食品製造業		2	2		
㉙ 漬物類製造業		15	8	7	
㉚ 密封包装食品製造業		3	2	1	
㉛ 食品の小分け業		3	2	1	
㉜ 添加物製造業					
小 計		1,300	741	327	232
喫茶店営業 (旧法)		24	6	9	9
あん類製造業 (旧法)					
食品の冷凍又は冷蔵業 (旧法)		5	5		
乳酸菌飲料製造業 (旧法)					
みそ製造業 (旧法)		3	2	1	
醤油製造業 (旧法)		1		1	
ソース類製造業 (旧法)					
かん詰又はびん詰食品製造業 (旧法)					
魚肉ねり製品製造業 (旧法)					
マーガリン又はショートニング製造業 (旧法)					
小 計		33	13	11	9
計		1,333	754	338	241

注1 「管轄外」とは、移動営業(食品営業車・仮設営業)のこと。

注2 「新法」とは、食品衛生法改正後の許可業種。「旧法」とは、改正前の許可業種。

(2) 監視件数の推移

年度	件数(件)
H30	1,694
R元	1,036
R2	1,138
R3	920
R4	791
R5	709

(3) 食品添加物、成分規格、細菌等の収去検査状況

年度	件数(件)
H30	147
R元	178
R元	178
R3	52
R4	55
R5	68

(4) 衛生教育の状況

年度	開催数(回)	受講者数(人)
H30	24	1,564
R元	28	1,484
R2	31	1,285
R3	20	291
R4	17	1,064
R5	16	1,144

(5) 食中毒の状況

年	全 国				佐 賀 県				管 内			
	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数
H28	1,139	20,252	14	18	12	94	0	8	1	8	0	8
H29	1,014	16,464	3	16	15	67	0	4	0	0	0	0
H30	1,330	17,282	3	13	15	34	0	2	0	0	0	0
R元	1,061	13,018	4	12	10	17	0	2	0	0	0	0
R2	887	14,613	3	16	12	14	0	1	1	1	0	1
R3	717	11,080	2	15	5	5	0	1	0	0	0	0
R4	962	6,856	5	7	7	7	0	1	1	1	0	1
R5	1,021	11,803	4	12	5	7	0	1	1	1	0	1

(6) 有症苦情及びその他の苦情件数

年 度	有症 苦情	そ の 他 の 苦 情						
		衛生管理 (施設)	衛生管理 (従業員)	表示	異物 混入	腐敗 変敗	カビ	その他
H28	6	5	0	0	9	2	0	4
H29	4	0	1	0	9	1	0	5
H30	7	1	2	1	7	3	0	7
R元	4	6	2	0	4	2	1	5
R2	5	2	1	0	1	1	0	9
R3	2	2	3	0	2	2	0	14
R4	5	2	0	3	3	1	1	1
R5	23	12	2	0	1	3	2	3

16 狂犬病予防・動物愛護

犬の新規登録頭数は平成23年度をピークに減少し、狂犬病予防注射頭数も減少が続いている。
 飼い犬、飼い猫の終生飼養の指導を徹底し、飼い犬及び飼い猫の引き取り頭数は減少した。
 佐賀県犬猫譲渡センターが開設され、犬・猫の譲渡事業は主に当センターで行われている。
 犬の苦情は飼犬が多いが、猫は野良猫や飼主不明猫に関する苦情が多い。

(1) 犬の登録頭数、狂犬病予防注射頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新規登録頭数	244	231	241	208	329	242	219	174
累計登録頭数	3,848	3,727	3,627	3,472	3,496	3,418	3,325	3,223
注射頭数	3,460	3,329	3,217	3,060	2,996	2,881	2,762	2,573

(2) 犬の捕獲、引き取り、譲渡頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
捕獲頭数	20	27	20	27	16	19	15	12
引き取り頭数	0	0	0	37	0	0	0	0
譲渡頭数								

※平成27年度以降、譲渡事業は主に犬猫譲渡センターで実施

(3) 猫の引き取り、譲渡頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
引き取り頭数	114	30	4	43	25	24	9	0
譲渡頭数								

※平成27年度以降、譲渡事業は主に犬猫譲渡センターで実施

(4) 苦情の届出

【犬】	令和5年度			
	飼い犬	野犬	不明	計
野犬が多い		0	0	0
放し飼い	0		0	0
犬の引き取り	5	0	0	5
鳴き声	0	0	0	0
農作物被害	0	0	0	0
ふん尿	1	0	0	1
その他	35	2	13	50
合計	41	2	13	56

【猫】	令和5年度			
	飼い猫	野良猫	不明	計
野良猫が多い		7	1	8
放し飼い	6		1	7
猫の引き取り	4	9	4	17
鳴き声	0	0	0	0
ふん尿	2	1	4	7
その他	29	20	24	73
合計	41	37	34	112

17 環境保全

- ・環境関係法令等に基づく特定事業場への立入指導を計画的に実施した。
- ・公害等に係る苦情相談等は、関係機関との連携のもとに現地調査を実施し、原因者への適正処理等の指導にあたった。
- ・水質事故に対しては、関係機関と連携し、緊急対応と原因者指導にあたった。
- ・浄化槽設置者に対しては設置者講習会の受講を指導し、また不適正浄化槽管理者等に対し施設改善や適正な維持管理の指導を行った。
- ・県では海水浴場の水質状況について一般公表のための調査を行っている。
- ・県では公共用水域の水質監視として河川等の水質調査を行っている。

(1) 公害関係施設・事業場数、監視件数

区 分	事業場等			監視件数		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
年度						
水質事業場	459	464	468	44	37	34
大気事業場	76	79	79	12	13	10
解体等工事	-	-	-	23	64	59
ガイヤン関係事業場	4	4	4	4	3	2
フロン回収業者等	12	10	9	1	3	1
浄化槽	5,472	5,552	5,060	30	23	24
浄化槽保守点検業者	6	6	6	5	0	1

(2) 特定事業場数の内訳(年度末)

区 分		伊万里市			有田町			計		
年度		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
水質事業場	法 律	280	282	284	82	85	87	362	367	371
	条 例	72	72	72	25	25	25	97	97	97
	計	352	354	356	107	110	112	459	464	468
大気事業場	法 律	57	60	60	17	16	16	74	76	76
	条 例	1	2	2	1	1	1	2	3	3
	計	58	62	62	18	17	17	76	79	79
ガイヤン類対策特別措置法		4	4	4	0	0	0	4	4	4
合 計		414	420	422	125	127	129	539	547	551

* 条例については条例の施設のみを設置している事業場

(3) 公害苦情相談件数

区 分	伊万里市			有田町			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
大気汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水質汚濁	2	0	0	0	0	3	2	0	3
騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不法投棄	0	1	0	0	0	0	0	1	0
野焼き	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	1	0	0
計	2	1	0	1	0	3	3	1	3

(4) 水質調査状況

区 分	件 数		
	R3	R4	R5
年度			
特定事業場排水	33	27	28
海水浴場	0	0	0
地下水	31	13	22
異常水質	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	64	40	50

(5) 地下水調査の内訳(令和5年度)

調査の種類	調査地区	調査件数
継続調査	有田町	3井戸×1回 4井戸×1回
一般概況調査	伊万里市	3井戸×1回
再度汚染井戸周辺地区調査	伊万里市	12井戸×1回
計		22件

(6) 水質事故発生状況

事 象	伊万里市			有田町			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
魚へい死	1	0	0	0	0	0	1	0	0
油流出	1	1	0	0	0	0	1	1	0
その他	1	1	0	0	0	0	1	1	0
計	3	2	0	0	0	0	3	2	0

(7) 特定粉じん(アスベスト)排出作業(届出対象石綿(レベル1・2))

区分	伊万里市			有田町			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
特定粉じん 排出作業実 施届	0	3	0	0	2	0	0	5	0

(8) 浄化槽設置数状況(年度末)

区 分	伊万里市			有田町			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
設置届出数	79	95	99	50	39	46	129	134	145
合併再掲	78	92	94	50	38	46	128	130	140
設置数累計	2,864	2,941	3,031	2,608	2,611	2,629	5,472	5,552	5,660
合併再掲	2,236	2,317	2,408	2,073	2,089	2,121	4,309	4,406	4,529
合併設置率	78.1	78.8	79.4	79.5	80.0	80.7	78.7	79.4	80.0

(9) 浄化槽指導件数

内 容	伊万里市			有田町			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
改善指導(通知等)	17	17	8	21	38	1	38	55	9
法定検査受検指導	74	72	69	81	80	69	155	152	138
計	91	89	77	102	118	70	193	207	147

(10) 浄化槽関係業者内訳(令和5年度末)

区 分	伊万里市	有田町	計
保守点検業	4	2	6
清掃業	2	2	4

(11) 浄化槽法定検査状況

検査結果	件 数					
	7条検査			11条検査		
年 度	R3	R4	R5	R3	R4	R5
適 正	95	99	98	3,786	3,831	4,067
おおむね適正	10	17	16	502	519	425
不 適 正	4	2	5	248	360	289
合 計	109	118	119	4,536	4,710	4,781

(12) 水浴場の水質状況

①伊万里人工海浜公園(イマリビーチ)

年 度	R3	R4	R5
C O D (平均値)	2.3	2.6	2.2
糞便性大腸菌(平均値)	4	5	不検出
油 膜 の 有 無	無	無	無
透 明 度	全透	全透	全透
判 定	B	B	B

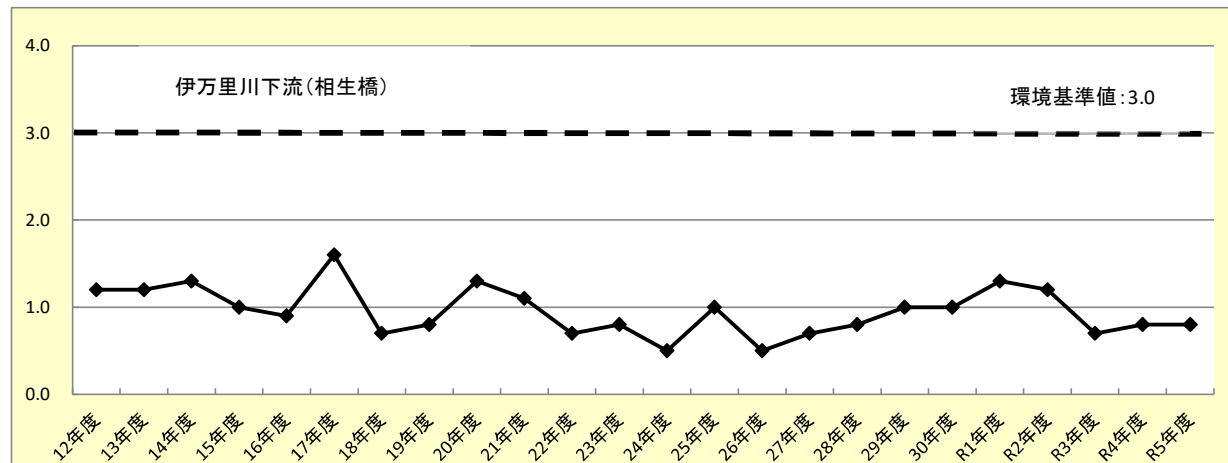
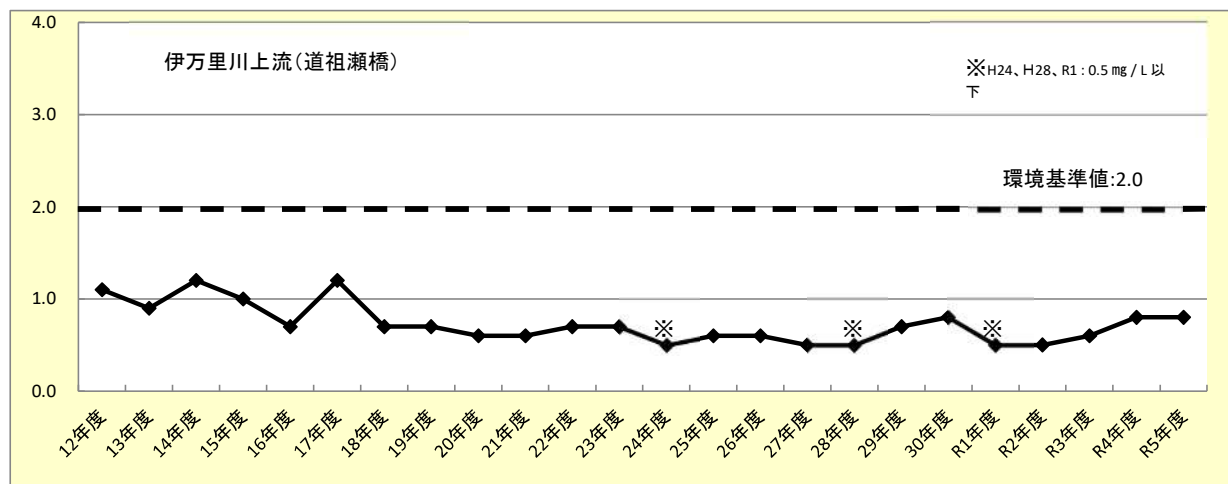
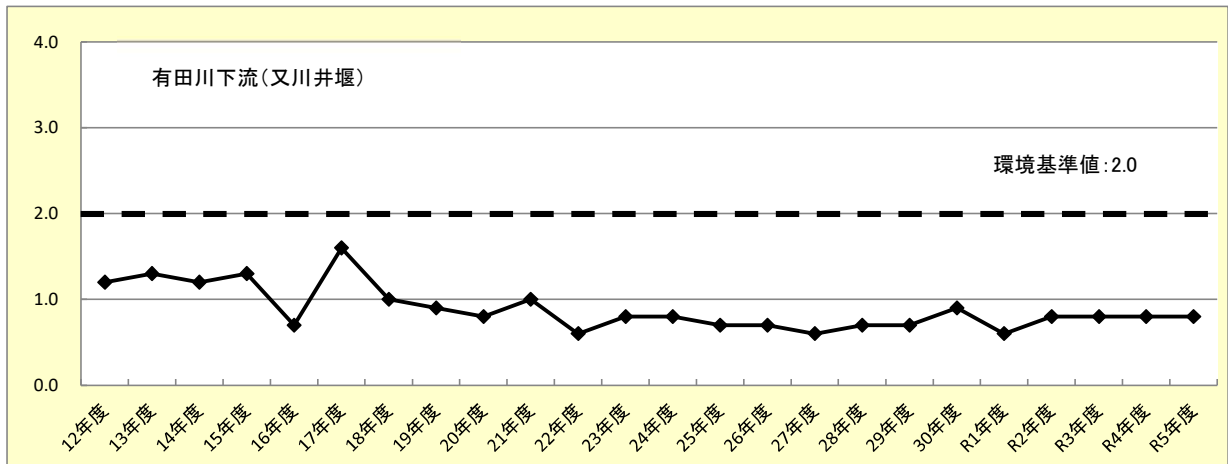
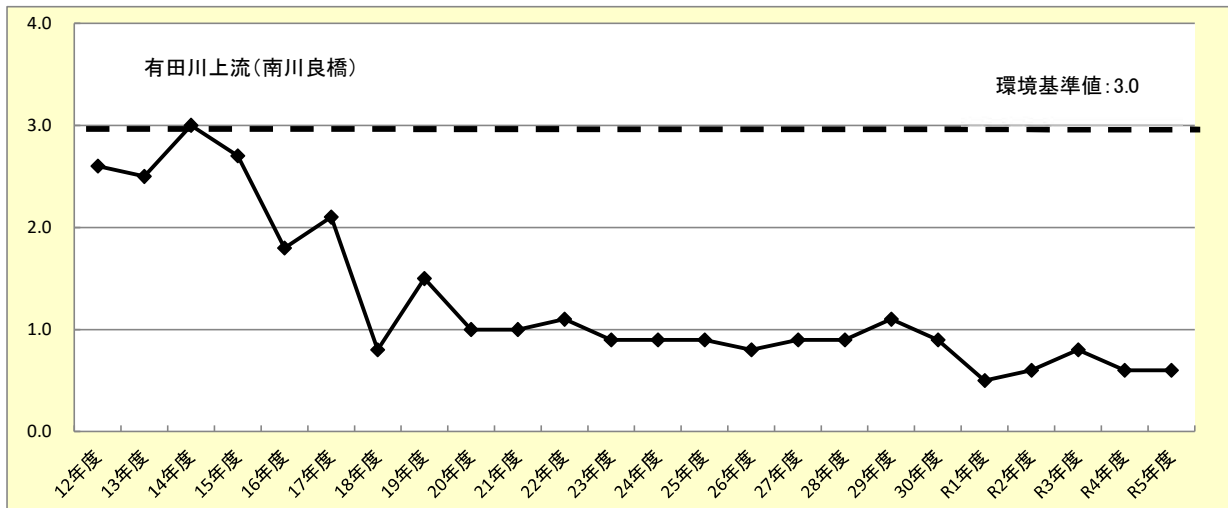
②いろは島海水浴場

年 度	R3	R4	R5
C O D (平均値)	2.3	2.1	2.1
糞便性大腸菌(平均値)	4	3	4
油 膜 の 有 無	無	無	無
透 明 度	全透	全透	全透
判 定	B	B	B

水質は開設中。糞便性大腸菌は、個/100mL中

(13)河川水質の推移(環境基準点)

BOD年間75%値(単位:mg/L)



18 その他

(1) 地域保健活動推進会議

市町・当事務所の保健師等により、保健事業に関する情報交換・意見交換等を行った。

令和5年度

期 日	内 容	出席者		
		市町	当所	計
令和5年5月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町・保健福祉事務所の業務分担、事業計画等 ・地域保健活動推進会議計画 ・新任期保健師研修報告(R4年度地域診断実践報告) ・中堅期保健師研修報告(R4年度実践報告) ・実践力アップ事例検討会 	10	8	18
令和5年8月28日(月)	【杵藤保健福祉事務所と合同開催】 <ul style="list-style-type: none"> ・講義 「大規模災害における初動対応について」 ・講義 「災害支援活動を通じて～被災者に寄り添う連携を考える～」 	8	3	11
令和5年10月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演:「災害時のメンタルヘルスケア」 ・実践力アップ事例検討会 	6	7	13
令和5年12月1日(金)	【子育て支援地域サポート検討会と合同開催】 <ul style="list-style-type: none"> ・講演:「:周産期のメンタルヘルスサポート」 ・実践力アップ事例検討会 	6	7	13
令和6年3月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレベル別グループワーク ・統括的役割をもつ保健師の意見交換 ・実践力アップ事例検討会 	6	8	14

(2) 石綿健康被害救済法

平成17年6月、アスベスト(石綿)関連製品を製造していた事業所の従業員や周辺住民の間で、中皮腫や肺がんなどアスベストが原因と見られる疾病死が多数発生していることが全国で報告された。

佐賀県では、住民のアスベスト暴露に対する健康不安へ対応するため、平成17年7月8日より各保健所等で電話や面接による健康相談等が開始された。

平成18年3月、石綿による健康被害を受けた方及びその遺族に対し、迅速な救済を図るため「石綿による健康被害の救済に関する法律」が制定され、平成18年3月20日より支給請求受付が開始された。

① 石綿健康被害救済法の健康相談件数

	件数
令和2年度	0
令和3年度	0
令和4年度	0
令和5年度	0

② 石綿健康被害救済法の申請受付件数

	件数
令和2年度	0
令和3年度	0
令和4年度	2
令和5年度	1

(3) 看護学生等実習

看護学生・保健師学生に対し、地域社会における保健・医療・福祉の連携の実際及び総合保健チームにおける看護の機能とその必要性を理解させ、総合看護の具体化に役立たせる。また、保健所の地域保健活動と保健師活動の特性を理解させる。実習内容としては、保健福祉事務所の業務概要の説明、各保健事業・家庭訪問への参加・見学を行っている。

学校名	学生数(実)	日数(実)	実習期間
西九州大学看護学部4年	6人	8日間	R5.6.12～16、19～22
佐賀県医療センター好生館看護学院 看護学科	6人	2日間	R5.6.26～27
伊万里看護学校	27人	1日間	R5.8.23
佐賀大学医学部看護学科4年	4人	16日間	R5.8.22～8.31、9.5～9.15

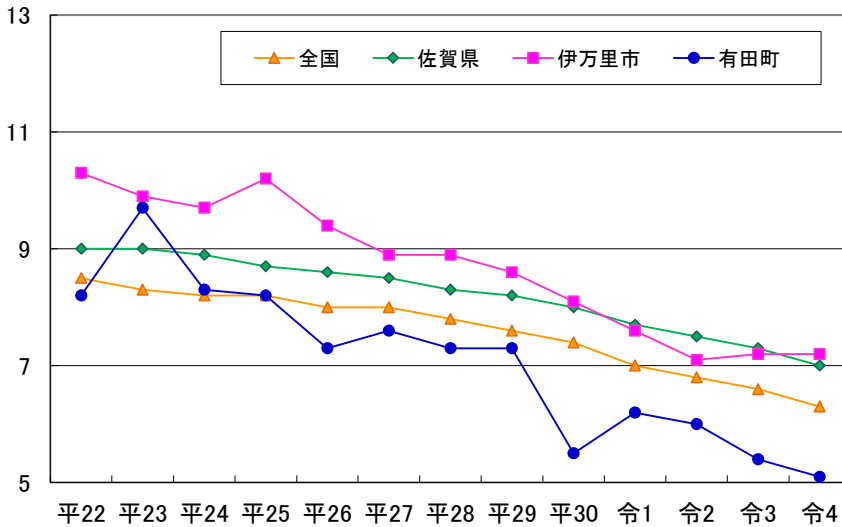
資料編：人口動態統計資料

○ 母子保健統計

○ 主要死因別標準化死亡比(SMR)

● 母子保健統計

1. 出生率の年次推移

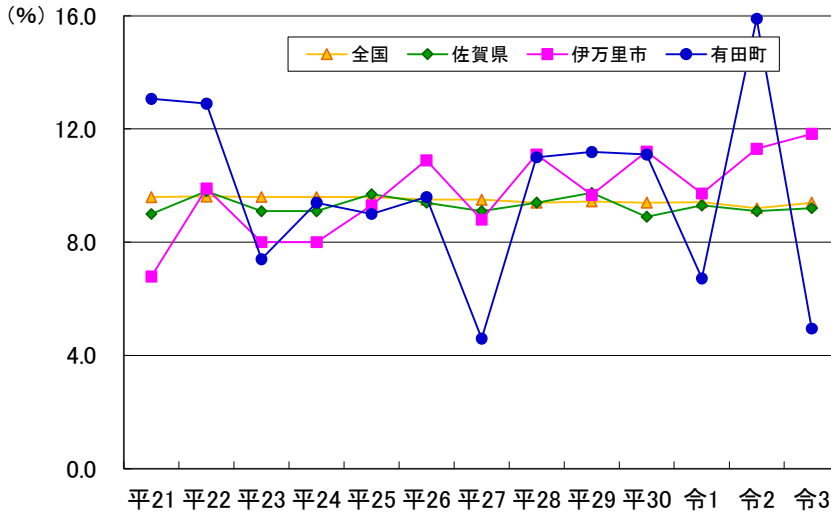


出生数及び出生率(人口千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

西暦		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
町村名	データ	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4
全国	出生総数	1,071,304	1,050,806	1,037,231	1,029,816	1,003,539	1,005,677	976,978	946,065	918,400	865,239	840,835	811,622	770,759
	出生率	8.5	8.3	8.2	8.2	8	8	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6	6.3
佐賀県	出生総数	7,640	7,613	7,440	7,276	7,159	7,064	6,811	6,743	6,535	6,231	6,004	5,853	5,552
	出生率	9.0	9.0	8.9	8.7	8.6	8.5	8.3	8.2	8.0	7.7	7.5	7.3	7.0
伊万里市	出生総数	583	561	547	569	524	486	485	486	435	401	371	372	364
	出生率	10.3	9.9	9.7	10.2	9.4	8.9	8.9	8.6	8.1	7.6	7.1	7.2	7.2
有田町	出生総数	171	202	171	166	146	152	145	143	106	119	113	101	94
	出生率	8.2	9.7	8.3	8.2	7.3	7.6	7.3	7.3	5.5	6.2	6	5.4	5.1

2. 低体重児出生率の年次推移



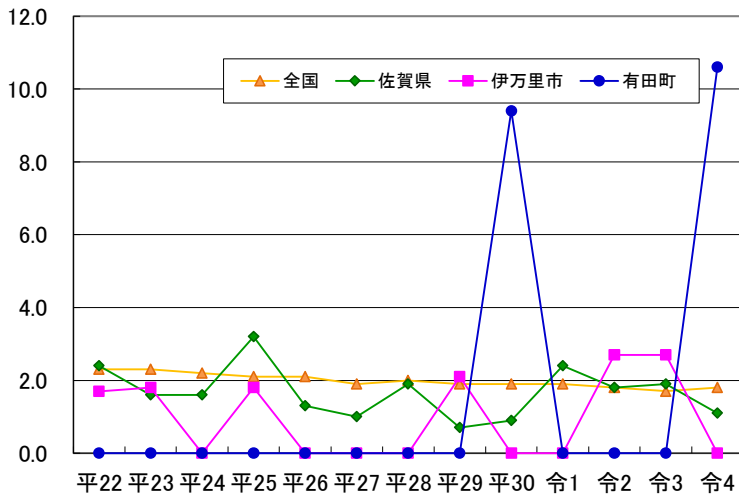
低体重児(2500g未満)出生数及び低体重児出生率(%)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

西暦		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
町村名	データ	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4
全国	低体重児出生数	103,049	100,378	99,311	98,624	95,768	95,206	92,082	89,353	86,269	81,462	77,539	76,060	72,587
	低体重児出生率	9.6	9.6	9.6	9.6	9.5	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4	9.2	9.4	9.4
佐賀県	低体重児出生数	749	693	676	707	675	645	638	657	582	578	546	539	484
	低体重児出生率	9.8	9.1	9.1	9.7	9.4	9.1	9.4	8.9	8.9	9.3	9.1	9.2	8.7
伊万里市	低体重児出生数	58	45	44	53	57	43	54	47	40	39	42	44	36
	低体重児出生率	9.9	8.0	8.0	9.3	10.9	8.8	11.1	9.2	11.2	9.7	11.3	11.8	9.9
有田町	低体重児出生数	22	15	16	15	14	7	16	16	15	8	18	5	11
	低体重児出生率	12.9	7.4	9.4	9.0	9.6	4.6	11.0	14.2	11.1	6.7	15.9	5.0	11.7

● 母子保健統計

3. 乳児死亡率の年次推移

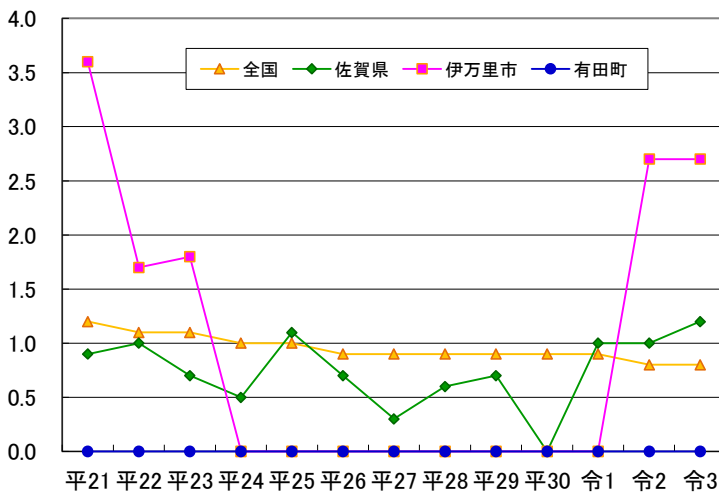


乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

西暦	データ	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
町村名	データ	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4
全国	乳児死亡数	2,450	2,463	2,299	2,185	2,080	1,916	1,928	1,761	1,748	1,654	1,512	1,399	1,356
	乳児死亡率	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8
佐賀県	乳児死亡数	18	12	12	23	9	7	13	11	6	15	11	11	6
	乳児死亡率	2.4	1.6	1.6	3.2	1.3	1.0	1.9	0.7	0.9	2.4	1.8	1.9	1.1
伊万里市	乳児死亡数	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	乳児死亡率	1.7	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.7	2.7	0.0
有田町	乳児死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	乳児死亡率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	10.6

4. 新生児死亡率の年次推移



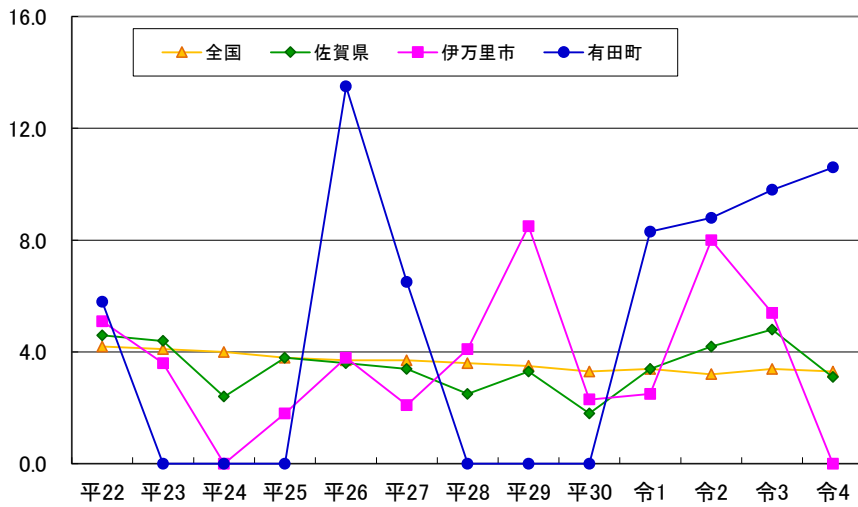
新生児死亡数及び新生児死亡率(出生千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

西暦	データ	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
町村名	データ	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4
全国	新生児死亡数	1167	1147	1065	1026	952	902	874	832	801	755	704	658	609
	新生児死亡率	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8
佐賀県	新生児死亡数	8	5	4	8	5	2	4	5	0	6	6	7	3
	新生児死亡率	1.0	0.7	0.5	1.1	0.7	0.3	0.6	0.7	0.0	1.0	1.0	1.2	0.5
伊万里市	新生児死亡数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	新生児死亡率	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	0.0
有田町	新生児死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	新生児死亡率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6

● 母子保健統計

5. 周産期死亡率の年次推移



周産期死亡数及び周産期死亡率(出産千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

西暦		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
町村名	データ	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	令4
全国	周産期死亡総数	4,515	4,315	4,133	3,862	3,750	3,728	3,516	3,308	2,999	2,955	2,664	2,741	2,527
	周産期死亡率	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4	3.3
佐賀県	周産期死亡総数	35	34	18	28	26	24	17	22	12	21	25	28	17
	周産期死亡率	4.6	4.4	2.4	3.8	3.6	3.4	2.5	3.3	1.8	3.4	4.2	4.8	3.1
伊万里市	周産期死亡総数	3	2	0	1	2	1	2	4	1	1	3	2	0
	周産期死亡率	5.1	3.6	0.0	1.8	3.8	2.1	4.1	8.5	2.3	2.5	8.0	5.4	0.0
有田町	周産期死亡総数	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	1	1
	周産期死亡率	5.8	0.0	0.0	0.0	13.5	6.5	0.0	0.0	0.0	8.3	8.8	9.8	10.6

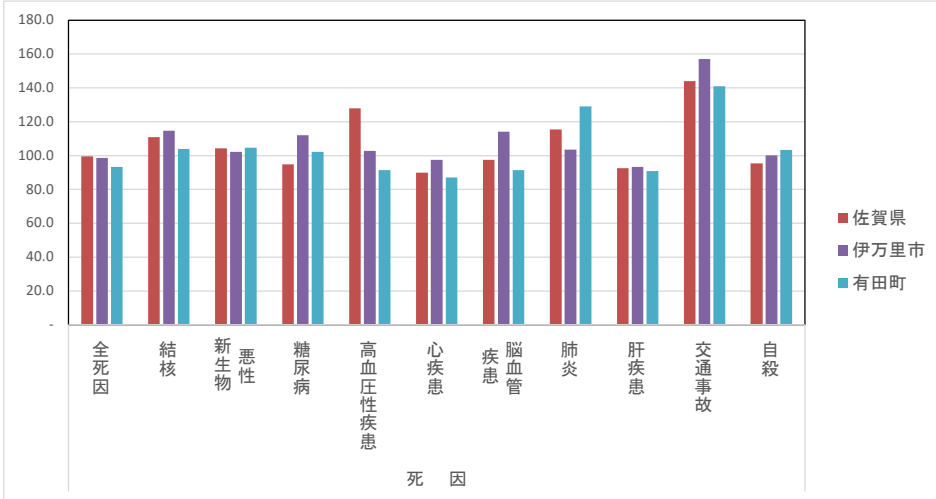
● 主要死因別標準化死亡比(SMR)

1 主要死因別 標準化死亡比(平成24年～令和4年)

総数

資料:佐賀県保健統計報告(人口動態統計編)

	死 因										
	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺
佐賀県	99.5	110.8	104.2	94.8	128.0	89.9	97.6	115.5	92.6	144.0	95.4
管内	97.0	111.6	103.0	109.3	99.5	94.4	107.6	110.8	92.6	152.6	101.0
伊万里市	98.5	114.7	102.3	112.1	102.8	97.4	114.1	103.5	93.2	157.1	100.1
有田町	93.2	103.8	104.6	102.2	91.4	87.1	91.4	129.1	90.9	141.0	103.3



男性

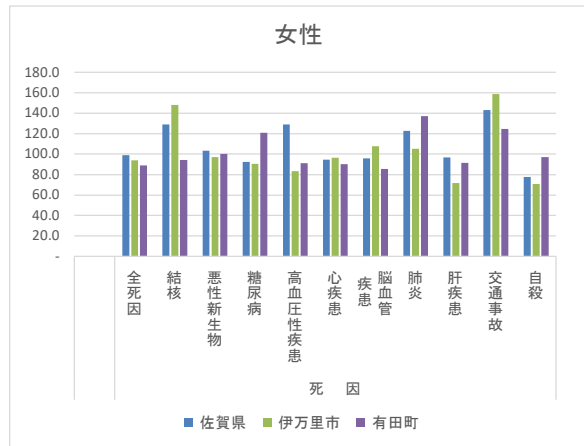
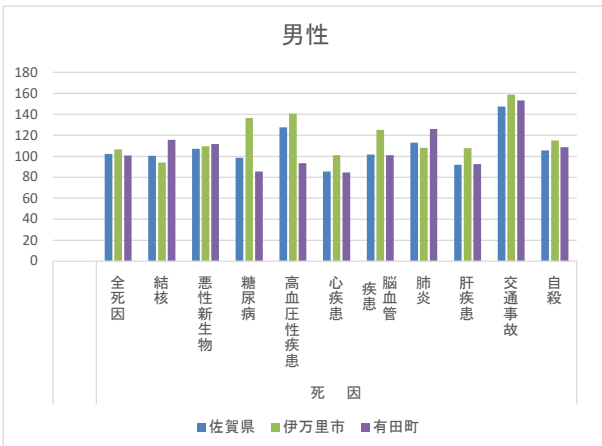
平成24年～令和4年

	死 因										
	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺
佐賀県	102.3	100.5	107.1	98.5	127.6	85.5	101.6	113.0	91.8	147.3	105.7
管内	105.0	100.2	110.2	122.1	127.1	96.3	118.3	113.3	103.6	157.3	113.5
伊万里市	106.7	93.9	109.7	136.5	140.8	101.0	125.2	108.0	107.9	158.7	115.2
有田町	100.7	115.9	111.6	85.4	93.3	84.7	101.1	126.2	92.5	153.4	108.6

女性

平成24年～令和4年

	死 因										
	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺
佐賀県	99.0	129.2	103.4	92.6	129.0	94.5	95.8	122.6	96.8	143.2	77.7
管内	92.6	132.9	98.0	99.1	85.4	94.7	101.4	114.5	77.3	149.2	78.0
伊万里市	94.0	148.1	97.1	90.5	83.1	96.4	107.7	105.3	71.8	158.8	70.7
有田町	89.1	94.3	100.2	120.9	91.2	90.2	85.7	137.4	91.4	124.8	97.1



● 主要死因別標準化死亡率(SMR)

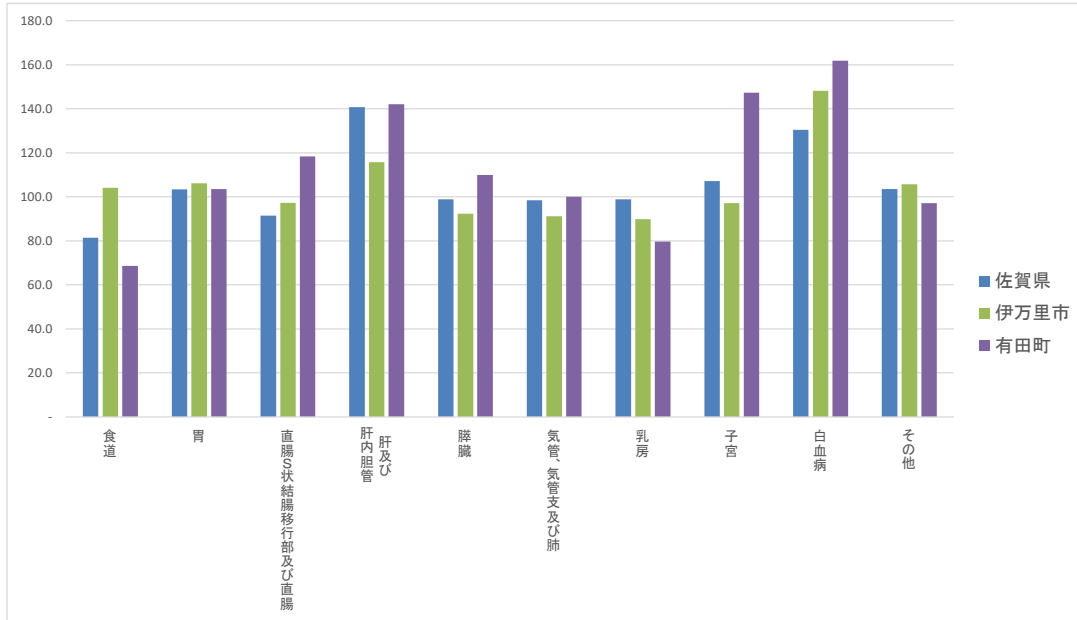
2 悪性新生物部位別 標準化死亡率(平成24年～令和4年)

総数

資料:佐賀県保健統計年表(人口動態統計編)

	悪性新生物(部位別)									
	食道	胃	直腸S状結腸移行部及び直腸	肝及び肝内胆管	膵臓	気管、気管支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
佐賀県	81.4	103.4	91.4	140.8	98.8	98.4	98.9	107.2	130.4	103.5
管内	94.2	105.4	103.2	123.2	97.2	93.7	87.1	111.1	152.0	103.3
伊万里市	104.1	106.1	97.3	115.7	92.3	91.2	89.9	97.1	148.2	105.8
有田町	68.7	103.5	118.3	142.1	109.9	100.1	79.7	147.3	161.8	97.1

※子宮の悪性新生物は女子人口10万対の率。



男性

平成24年～令和4年

	悪性新生物(部位別)									
	食道	胃	直腸S状結腸移行部及び直腸	肝及び肝内胆管	膵臓	気管、気管支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
佐賀県	85.3	107.4	91.8	140.2	101.2	103.9	118.4	-	139.6	105.2
管内	101.7	121.2	90.2	124.4	109.8	97.5	-	-	174.2	110.8
伊万里市	111.2	123.7	82.1	114.9	109.0	94.3	-	-	176.6	112.7
有田町	77.3	114.9	111.3	148.7	112.0	105.8	-	-	168.2	106.2

女性

平成24年～令和4年

	悪性新生物(部位別)									
	食道	胃	直腸S状結腸移行部及び直腸	肝及び肝内胆管	膵臓	気管、気管支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
佐賀県	74.9	101.3	93.7	148.0	97.6	92.9	96.4	107.2	121.2	104.4
管内	77.0	86.1	126.2	127.6	87.0	94.0	85.6	111.1	127.4	98.8
伊万里市	89.3	83.9	123.4	122.9	78.2	92.7	88.6	97.1	114.8	102.2
有田町	45.5	91.7	133.5	139.4	109.4	97.2	78.1	147.3	159.6	90.1

※子宮の悪性新生物は女子人口10万対の率。

